

平成25年度

福知山市教育委員会  
点検・評価報告書  
(平成24年度施策・事業対象)

平成26年2月

福知山市教育委員会

## 目 次

1	はじめに	1
2	平成24年度での教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言を踏まえて	2
3	平成24年度の取り組み状況（概要、学力、いじめ、不登校）	2
4	教育委員会議、協議会の開催状況	7
5	教育委員会議での審議状況	7
6	教育委員会議以外の活動	12
7	施策の取組状況評価	13
	（1）点検・評価の対象	13
	（2）点検・評価結果の構成	14
	（3）教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言等	14
	（4）評価の結果	16
	① 基本的人権の尊重を基盤とした、一人一人を大切にした教育を進める	16
	② 学習指導要領を踏まえた教育課程を編成し、確かな学力を身につけさせる	18
	③ 保幼小中一貫・連携教育「シームレス学園構想」の一層の具現化を図り、その成果を広く市民に周知する	19
	④ 東日本大震災の教訓に学び、子どもたちの安心・安全を確保する取組を一層進める	20
	⑤ 学校と地域社会との連携を深め、地域社会の知恵と力を活かした教育環境づくりを進める	22

⑥	社会総がかりで進める「家族だんらんの日」の取組を通して、家庭・地域社会の絆を強める	22
⑦	若者や市民をまきこんだ社会教育事業を推進する	23
⑧	人権問題に関する意識調査結果を踏まえた人権教育を実施する	24
⑨	教育集会所活動の充実	25
⑩	天然記念物総合調査を進めるとともに、名勝としての大江山、福知山城下町地域を主とする町並みなど歴史的な景観の保全に向けた、調査・研究を進める	26
⑪	公民館講座等の活動を通じ、地域において環境等の現代的課題への取組や子どもの健全育成を推進する	27
⑫	図書館利用者の多様なニーズに応え、ネットワークを活用したサービスの充実に努める	29
⑬	夜久野地域の3小学校の統合と小中一貫校「夜久野学園」の開園準備	30
8	平成24年度の新規事業	32
9	平成23年度をもって廃止した事業	34
10	おわりに	35
11	資料	
(1)	教育委員会組織機構図	36
(2)	教育委員会事務分担表	37
(3)	「教育の重点」の施策方針に対する取組状況 【平成24年度教育委員会事業実施状況】	38
(4)	福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱	57

## 1 はじめに

福知山市教育委員会では、教育行政の充実を図るとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成24年度の教育委員会の事務事業を『第4次福知山市総合計画後期計画』に基づき策定した「平成24年度福知山市教育の重点」に示す学校教育の重点5項目と社会教育の重点7項目及び教育委員会として評価すべき事項と判断した1項目について教育的な視点に立って点検・評価を実施し、本報告書を作成しました。

本報告書の作成にあたっては、前年の点検・評価と同様に教育委員会事務点検・評価委員のみなさまの意見・助言をいただきました。

これは、これからの教育委員会のあり方を問われているものであり、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくことを強く求められているものです。

この点検・評価結果を教育行政の効果的推進に向けて、教育行政全般において各々の事業がもつ位置づけや目的、事業のあり方などを意識しながら、今後の教育行政の推進に適切に反映させていきたいと考えております。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕(平成20年4月1日施行)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 平成24年度福知山市教育委員会委員

委員長	上	山	英	子
委員	倉	橋	徳	彦（委員長職務代理者）
委員	大	槻	豊	子
委員	瀬	田	眞	澄
教育長	荒	木	徳	尚

## 2 平成24年度での教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言を踏まえて

### 【教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言】

- ・この点検・評価報告書は、議会に提出して広く公表するとともに、「今後どのように活かしていくのか」という報告書を作成する意義を常に考えながら事務事業に取り組んでいくことが大切である。
- ・今年度の点検・評価は2年目であり、前年度との比較をするとともに、前年度で終了した事業、今年度に変更や拡充等した事業、今年度から実施開始となった事業などがわかるように記載したほうが良い。
- ・新規事業には新規の事業を行った理由が必要であり、事業を統合したり廃止した時にも同様に理由が必要である。また、評価判断基準にD評価（休止または廃止する事業）があるにもかかわらず、前年度の評価がD評価でない事業を休止・廃止しているのはなぜなのかわからないので、評価にその旨を記載されることが望ましい。
- ・今年度は前年度の課題に対してどのような取り組みをしたのかということに記載するとともに、次年度は今年度の取り組みをどのように継続・発展させるのか等についても記載するようにしたら良い。
- ・評価の判断基準の適用に当たっては、前年度にも意見・助言したように、評価の根拠として、各施策で実施されている実態調査や学校評価など、各種の調査データも活用して評価されることが望ましい。
- ・点検・評価を次年度につなげていくためには、市民の関心や理解、連携・協力を得ていくことが欠かせないので、より一層の広報に努められたい。
- ・次年度以降の点検・評価においては、事務事業の評価は実施の有無を評価し、教育内容や教育指導の成果にかかる評価については、「学校教育の重点」「社会教育の重点」を基に行う必要があるのではないか。

平成25年度（24年度対象）の教育委員会点検・評価に当たっては、これらの意見・助言を踏まえて報告書を作成しました。

## 3 平成24年度の取り組み状況（概要、学力、いじめ、不登校）

### ○市教育行政の全体像

憲法と教育基本法の理念に基づき北近畿をリードする創造性あふれるまち福知山の実現に向けて、活力と潤いのある未来をつくるため、社会変化に対応できる調和のとれた、心豊かな人づくりを目指しています。そのためには、未来を担う子どもたちが目標を持ち、自ら学び自ら考え、夢に向かってたくましく生きてい

くためのよりよい環境を最優先に考えて整備し、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の増進などの「生きる力」の育成と生涯学習の積極的な推進を目標に、学校教育と社会教育が緊密な連携を進め、家庭・地域社会・学校の実態に即して、中長期的な展望に立った特色ある教育活動で、「教育のまち福知山」を創造していかねばなりません。

## 福知山市教育の基本方針

～魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり～

## 福知山市の教育がめざす教育の方向

自分のために（自己実現） 人のために（他者貢献） 世のために（社会貢献）

福知山市の教育がめざす方向は、知性を磨き、特性を涵養し、心身ともに健全な自立した人間の育成、併せて人々の幸福と社会の発展に寄与する行動力を兼ね備え、新しい時代を切り開く人材の育成にあります。

## めざす子ども像 ～「学校教育改革推進プログラム」より～

ふるさとを愛する子 人や郷土の文化・伝統を大切にする子

くふうする子 自ら課題を見つけ、もっと良い方法はないかと工夫する子

ちえをみがく子 物事を深く考え、真理を追究する子

やさしさとおもいやりのある子 自分を大切にし、友達も大切にできる子

まじめにがんばる元気な子 希望に向けて努力し、健やかに成長する子

## ○市民への広報

市民への広報は、市広報誌や市教委ホームページで情報提供を行うとともに、啓発用冊子を作成し、市民に広く配布しました。また、「家族だんらんの日」の取り組みの周知を浸透させるため、啓発用のぼりを市内の学校等関係施設で掲出しました。

今後も引き続き、市民に福知山市の教育を知っていただけるように取り組んでいきます。

また、とりわけ市民のみなさまの関心が高い、児童生徒の学力、いじめの状況及び不登校の状況については次のとおりです。

## ○児童生徒の学力

### 平成24年度小学校学力診断テスト（概要）

実施日：平成24年4月9日～16日

対象者：市内 26小学校 4年生767人 6年生718人

受検科目：国語・算数

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：学習指導要領に照らした学習の実現状況の把握、並びに結果分析により指導上の課題を明らかにして授業改善を進め、学力充実・向上を図る。

結果概要：4年生、6年生とも国語・算数において、京都府平均を上回っています。

各校の結果を分析し、授業改善を進め、学力の充実を図ります。

### 平成24年度中学校学力診断テスト（概要）

実施日：平成24年10月24日

対象者：市内9中学校 2年生735人

受検科目：国語・数学・英語

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：学習指導要領に照らした学習の実現状況の把握、並びに結果分析により指導上の課題を明らかにして授業改善を進め、学力充実・向上を図る。

結果概要：国語・数学・英語とも京都府の平均を上回っています。

### 平成24年度全国学力学習状況調査（概要）

実施日：平成24年4月17日

対象者：文部科学省が調査対象として抽出した学校

市内 13小学校 6年生343人

市内 5中学校 3年生446人

（その他、小学校13校、中学校4校が希望利用した）

受検科目：小学校 国語・算数・理科

中学校 国語・数学・理科

実施主体：文部科学省

実施目的：義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

結果概要： 小中学校とも全校平均程度もしくは全国平均を上回っていますが、国語においては記述式問題、理科においては観察、実験結果を整理、分析した上で考察や説明することについては課題が見られます。

#### 【参考】

##### 全国学力学習状況調査での「希望利用」とは

文部科学省が調査対象として抽出した学校以外の学校については、学校の設置管理者の希望により、抽出調査と同一の問題の提供を受け、調査を利用することができること。なお、希望利用校の結果は、文部科学省が公表する抽出調査の集計には反映されません。

以上が平成24年度に行われた学力診断テスト及び全国学力・学習状況調査の概要です。

ただ、これらのテストや調査の結果で測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえなければなりません。

教育委員会としても、教育及び教育施策の改善や各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に取り組むため、学校における学力向上、定着の取組等に対して引き続き必要な支援をします。

#### ○いじめの状況

平成24年度に実施した文部科学省いじめ調査では、本市市立小中学校でいじめと感じた人数が1,949人、2,985件ありました。こうしたことから学校では、未然防止、早期発見・早期対応を基本としながらも、いじめ調査のみでなく、生活調査等を実施するなど、日頃から随時、児童生徒や保護者の思いを把握することに努めています。

いじめをはじめ、自殺、児童虐待等子どもに関する問題が社会化していることを受けて、本市では子どもたち命の大切さを見つめ、自尊感情をはぐくみ、あらゆる暴力から大切な命と体を守るために、子ども自身がどのように行動すればよいかを考えるワークショップを平成24年度から3年計画で実施しています。

(24年度は、7小学校で子どもワークショップ15講座、大人ワークショップ7講座を実施)

また、いじめ防止にかかる取組を継続的に実施するとともに、教職員が毅然とした姿勢を児童生徒や保護者に見せることで、学校のみでなく地域や保護者との



共通理解のもと、連携した見守りをしています。

## ○不登校の状況

不登校総合対策事業として心の安定基地づくり推進事業に取り組みを行いました。訪問指導員や訪問専門指導員を配置して、家庭と児童生徒、学校をつなぐとともに、適応指導教室「けやき広場」での個々に応じた指導・支援によって中学3年生7人のうち6人は、進学を果たすことができました。また2人は学校復帰ができました。

下記に示す通り、中学校における不登校が前年と比較し増加しましたが、引き続き、学校復帰や進路展望が拓けるよう、関係者が連携を密にして支援していきます。

また、複雑で専門的なケースが増えている教育相談では、福祉や医療分野と密接な連携を必要とする中、臨床心理士を中心に適切な支援を行いました。

### 本市の不登校児童生徒数・出現率の推移

	小学校	中学校
平成23年度	13人（出現率 0.28%）	47人（出現率 2.07%）
平成24年度	13人（出現率 0.29%）	58人（出現率 2.54%）

#### 【参考】

##### 不登校とは

年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないまたはしたくともできない状況にあること（ただし、病気や経済的理由によるものを除く）と文部科学省は定義しています。

#### 4 教育委員会議、協議会の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催、また事前協議等のための「協議会」も開催しています。

- (1) 教育委員会定例会 . . . . . 12回
- (2) 教育委員会臨時会 . . . . . 7回
- (3) 教育委員会協議会 . . . . . 6回

#### 5 教育委員会議での審議状況

##### (1) 定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「福知山市教育委員会基本規則」第10条に定める事務について、平成24年度は合計50件について審議しました。

- ①教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること . . . 11件
- ②委員会規則その他委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること . . . 9件
- ③教育予算、条例案、その他議会の議決を経るべき議案について . . . 14件
- ④法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱 . . . . . 4件
- ⑤委員会及び学校その他の教育機関の職員の人事に関すること . . . . . 10件
- ⑥教育に係る表彰に関すること . . . . . 1件
- ⑦教育委員会点検・評価に関すること . . . . . 1件

○平成24年度 教育委員会議審議案件一覧

議案番号	件名	議決日
議第 1 号	統合小学校の校名について	4月23日
議第 2 号	通学路の安全確保について	5月29日
議第 3 号	福知山市社会教育委員の委嘱について	
議第 4 号	福知山市立公民館運営審議会委員の委嘱について	
議第 5 号	福知山市立図書館協議会委員の委嘱について	
議第 6 号	福知山市少年補導センター運営委員会委員の委嘱について	
議第 7 号	専決処分の承認について	
議第 8 号	物品の取得について	7月26日
議第 9 号	生徒指導上の課題について ～いじめを考える～	
議第 10 号	平成24年度一般会計教育費歳出補正予算要求書の提出について	8月21日
議第 11 号	新学校給食センターにおける調理委託について	
議第 12 号	図書館における図書購入について	9月6日
議第 13 号	福知山市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について	9月24日
議第 14 号	平成24年度教育委員会表彰について	
議第 15 号	職員の異動の発令について	
議第 16 号	委員長の選任について	10月2日
議第 17 号	委員長職務代理者の指定について	
議第 18 号	桃映中学校及び南陵中学校の通学区域の一部変更（案）について	10月24日
議第 19 号	教育長の選任について	10月30日
議第 20 号	平成24年度福知山市立学校教職員人事異動方針の策定について	11月13日
議第 21 号	惇明小学校及び修斉小学校の通学区域の一部変更（案）について	11月21日
議第 22 号	福知山市佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金条例の制定について	
議第 23 号	福知山市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	12月3日
議第 24 号	平成25年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について	
議第 25 号	平成25年度福知山市教育委員会点検・評価報告書について	
議第 26 号	平成25年度福知山市立幼稚園の入園募集結果について	

議案番号	件名	議決日
議第 27 号	福知山市立小学校及び中学校通学区域の指定に関する規則の一部を改正する規則の制定について	12月20日
議第 28 号	福知山市三和町郷土資料館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 29 号	平成25年度福知山市教育の方向性について	
議第 30 号	福知山市就学援助に関する規則の一部を改正する規則の制定について	1月29日
議第 31 号	平成25年度学校教育の重点について	
議第 32 号	平成25年度社会教育の重点について	
議第 33 号	教職員の退職について	
議第 34 号	福知山市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	2月18日
議第 35 号	福知山市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について	
議第 36 号	福知山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	
議第 37 号	福知山市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議第 38 号	福知山市の特別職等の職員で常勤のものの退職手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議第 39 号	福知山市立公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 40 号	平成24年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書及び繰越調書の提出について	
議第 41 号	平成25年度事業概要について	
議第 42 号	教職員人事異動内申について	2月25日
議第 43 号	教職員人事異動内申について	3月15日
議第 44 号	福知山市学校教育審議会規則を廃止する規則の制定について	3月21日
議第 45 号	福知山市立図書館の休館日の変更について	
議第 46 号	福知山市教育委員会基本規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 47 号	福知山市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	
議第 48 号	福知山市立の小学校及び中学校の副校長の専決等に関する規程の制定について	
議第 49 号	教育長の選任について権限に属する事務の一部を小学校及び中学校の校長に委任する訓令の一部を改正する訓令の制定について	
議第 50 号	教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の異動発令について	

○平成24年度教育委員会議 報告・説明事項

番号	件名	報告日
1	教育長決裁による後援承認事項について (No.1~7)	4月23日
2	教育長決裁による後援承認事項について (No.8~17)	5月29日
3	福知山市立幼稚園就園奨励費交付要綱の一部改正について	6月22日
4	福知山市公民館運営審議会委員について	
5	福知山市図書館協議会委員について	
6	福知山市少年補導センター運営委員会委員について	
7	教育長決裁による後援承認事項について (No.18~35)	
8	教育長決裁による後援承認事項について (No.36~47)	7月26日
9	教育長決裁による後援承認事項について (No.48~55)	8月21日
10	いじめアンケートの結果について	9月24日
11	幼稚園アンケートの結果について	
12	教育長決裁による後援承認事項について (No.56~66)	
13	教育長決裁による後援承認事項について (No.67~73)	10月30日
14	教育長決裁による後援承認事項について (No.74~79)	11月21日
15	新福知山市学校給食センター調理委託業務指名競争入札の執行について	12月3日
16	平成25年度学校行事の予定について	12月20日
17	平成25年成人式の運営について	
18	教育長決裁による後援承認事項について (No.80~81)	
19	平成25年度全国学力・学習状況調査への参加について	
20	いじめアンケートの結果について	1月29日
21	福知山市教育委員会教育長訓令甲第1号について	
22	教育長決裁による後援承認事項について (No.82~87)	
23	平成25年度小学校入学予定者数について	
24	教育長決裁による後援承認事項について (No.88~91)	2月18日
25	教育長決裁による後援承認事項について (No.92~96)	3月21日

## (2) 協議会

「福知山市教育委員会基本規則」第4条により開催した協議会において、案件一覧表のとおり

平成24年度は合計15件について協議しました。

### ○平成24年度 教育委員会協議会案件一覧

番号	件名	協議日
1	教育長報告事項	9月6日
2	開かれた教育委員会のあり方について	
3	教育委員会事務・点検評価報告書について	
4	今後の予定について	
5	教育長報告事項	9月24日
6	桃映中学校及び南陵中学校通学区域の一部変更について	
7	幼稚園アンケート結果について	
8	平成25年度幼稚園児募集について	
9	福知山市職員定数条例について	10月24日
10	寄付金の受領について	
11	教育長報告事項	11月21日
12	平成25年度幼稚園児応募状況について	
13	教育長報告事項	12月20日
14	財団法人京都府学校給食会の委託加工業者の変更について	
15	精華・育英・明正小学校閉校式について	1月29日

6 教育委員会会議以外の活動(教育委員が出席した活動等)

月	各種行事・大会等	
	福知山市関係	国・府関係
4月	市制施行75周年記念式典 新任校長着任式 市立幼稚園、小・中学校当初校(園)長会議	中丹管内教育委員会委員長・教育長会議 中丹地方教育委員会連絡協議会
5月	教育員研修会(新学校給食センター視察) 給食配膳見学(惇明小学校) 春季自治会長会 教科書採択委員会監査 教育員研修会(消防防災センター見学)	中丹地方教育委員会連絡協議会総会・委員研修会
6月	市議会定例会	府市町村教育委員会連合会定期総会・委員研修
7月	任命辞令交付式・市長懇談 市立幼稚園、小・中学校第2回校(園)長会議 市議会定例会 教育員研修会(新学校給食センター視察)	
8月	市学校教育振興会研究発表会 市小学生陸上競技大会 教育委員研修会	
9月	市議会定例会 教育委員会事務点検・評価会議	
10月	社会教育委員会議員との懇談会 市学校保健研究大会 府小学校教育研究会健康安全教育研究大会(庵我小) 府京の未来創造校発表会(雀部小学校) 秋季自治会長会	近畿市町村教育委員研修大会
11月	学校音楽祭 府中学校教育研究会技術・家庭科研究大会(桃映中) 教育委員研修会 教育委員会表彰式・市校長会役員懇談会 福知山マラソン表彰式 新学校給食センター視察	京都府内市町村教育委員研修会 市町村教育委員会研究協議会 府教委スクールミーティング
12月	市議会定例会 市立幼稚園、小・中学校第3回校(園)長会議	
1月	福知山市成人式	
2月	臨時校長会議 市学校教育フェスティバル 市立幼稚園、小・中学校第4回校(園)長会議 教育委員研修会	中丹地方教育委員会連絡協議会 府民総体市町村対抗駅伝開始式・表彰式
3月	市議会定例会 新学校給食センター竣工式 第20回市民駅伝大会開会式 市立小・中学校卒業式 夜久野3小学校閉校式 教職員異動面談	

## 7 施策の取組状況評価

### (1) 点検・評価の対象

教育委員会では毎年度、「教育の重点」を策定しています。平成24年度からはさらに概要版を作成し、この中で重点的に取組む項目を公表しています。

平成24年度の教育委員会事務点検・評価に当たっては、「平成24年度福知山市教育の重点」に示す学校教育の重点5項目及び社会教育の重点7項目、その他、教育委員会として評価すべき事項と判断した1項目を教育的な視点に立って点検・評価の対象としています。

#### 【24年度「学校教育の重点」に示す重点5項目】

- 1 基本的人権の尊重を基盤とした、一人一人を大切にした教育を進める。
- 2 学習指導要領を踏まえた教育課程を編成し、確かな学力を身につけさせる。
- 3 保幼小中一貫・連携教育「シームレス学園構想」の一層の具現化を図り、その成果を広く市民に周知する。
- 4 東日本大震災等の教訓に学び、子どもたちの安心・安全を確保する取組を一層進める。
- 5 学校と地域社会との連携を深め、地域社会の知恵と力を活かした教育環境づくりを進める。

#### 【24年度「社会教育の重点」に示す重点7項目】

- 1 社会総がかりで進める「家族だんらんの日」の取組を通して、家庭・地域社会の絆を強める。
- 2 若者や市民をまきこんだ社会教育事業を推進する。
- 3 人権問題に関する意識調査結果を踏まえた人権教育を実施する。
- 4 教育集会所活動の充実
- 5 天然記念物総合調査を進めるとともに、名勝としての大江山、福知山城下町地域を主とする町並みなど歴史的な景観の保全に向けた、調査・研究を進める。
- 6 公民館講座等の活動を通じ、地域において環境等の現代的課題への取組や子どもの健全育成を推進する。
- 7 図書館利用者の多様なニーズに応え、ネットワークを活用したサービスの充実に努める。

#### 【その他教育委員会が点検・評価を要すると判断した項目】

- 1 夜久野地域の3小学校の統合と小中一貫校「夜久野学園」の開園準備



## (2) 点検・評価結果の構成

### ①評価対象

福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱に基づき、福知山市教育委員会の事務・事業12重点項目とその他評価対象にすべきと判断した1項目、計13項目について、項目ごと点検・評価を行いました。

### ②項目に対する評価

計画目標に対しての進捗状況等、年度内の取組みを外部の方々の御意見を参考にしながら、各項目の評価をA～Dの4段階で評価を行いました。

#### (評価判断基準)

- A . . . . 計画以上の成果が得られた。
- B . . . . 計画どおり目標は達成できた。
- C . . . . 課題があり、改善を要する。
- D . . . . 成果の点から休止又は廃止する事業もしくは抜本的な見直しが必要である。

### ③実施状況

各項目の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、対象及び実績を示しました。

### ④成果・課題

教育上効果のあがった内容、成果及び課題等を示しました。

### ⑤関連事業

各項目の目標達成に係る事業名、担当課名及び評価判断基準による各関連事業の評価を示しました。

## (3) 教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言等

点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する方の御協力を得て、点検・評価会議を開催し、様々な意見や助言をいただきました。

#### 教育委員会事務点検・評価委員評価委員名（敬称略）

氏 名	所 属
足 立 正 夫	元夜久野町教育長、元夜久野地域公民館長
池 田 広 子	成美大学教授
秦 正 音	人権擁護委員、元正寺住職

## 点検・評価会議開催期日

第1回 平成25年12月20日 市民会館31号室

第2回 平成26年1月24日 市民会館34号室

### ○点検・評価委員会での主な意見、助言

2回の点検評価会議において、委員のみなさんからいただいた主な意見や助言は次のとおりです。

- ・福知山市の教育で特筆すべきものをもっと明らかにして、見えるようにすべきではないか。
- ・「どのように活かすのか」という報告書作成の意義を常に考えながら事務事業に取り組んでいただきたい。
- ・学力、いじめ、不登校問題など市民の関心が高いと思われるものについては、より丁寧な説明が必要。
- ・市民の関心や理解、連携・協力を得ていくことが欠かせないので、丁寧な広報とわかりやすい内容となるように努められたい。
- ・説明責任があると言いつつも「こう思う」では説得性に欠ける。データを示すなど客観的に評価すべきで、自己評価の基準をより明確にしたほうが良いのではないか。

#### (4) 評価の結果

平成24年度「学校教育の重点」に示す重点項目1

##### ① 基本的人権の尊重を基盤とした、一人一人を大切にした教育を進める

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

##### 実施状況

##### ○虐待、暴力行為、いじめや不登校の未然防止や早期対応

暴力行為、いじめや不登校の未然防止や早期対応のため、実態把握と各小中学校への指導や支援をはじめ、関係機関と連携し、人権主任や生徒指導主任、教育相談担当者等を対象とした研修会を実施し、適切な対応についての知識を習得した。

いじめや虐待等、あらゆる暴力から命と体を守るためにどう行動すればよいかを考える人権ワークショップを7小学校で開催、とるべき行動について教職員や保護者等と共に学習した。(平成24年度から3ヵ年計画)

本市教育委員会で初めての虐待防止研修会を開催し、教職員が基本知識や通告について適切な対応を学んだ。

##### ○人権教育の推進

各校園で実施される人権学習を保護者や地域に積極的に公開するとともに、指導主事等が参観し、必要な指導支援を行った。また、各種人権研修に教職員を派遣し、スキルアップを図った。

各学校においては「いじめについての児童生徒アンケート」を行った。

##### ○発達障害を含め障害のある幼児児童生徒への適切な支援

就学前スクリーニング及び通級指導教室幼児部での事後支援を行い、発達障害等のある子どもたちの早期発見及び早期支援に努めている。また、未就園児等の保護者にも個別にスクリーニングの実施案内を行い、より丁寧に取り組んだ。

思春期スクリーニングの実施校を拡大し、思春期に顕在化する発達障害や子どもの困り感を早期に発見し、小集団活動、発達検査及び教育発達クリニックなどの事後支援を行った。地域の支援機関と連携した学校支援巡回チームにより、学校へより専門的な助言を行い、支援連携体制の強化を図った。

また、生涯にわたる一貫した支援を行うため、個別の移行支援シートや相談支援ファイルを作成、活用しており、それらツールの機能的な活用に向けて、特別支援連携会議を開催し、協議・意見交流を行った。

管理職研修や特別支援教育コーディネーターなど教職員の研修会を実施し、特別支援教育に関する理解を深めた。

##### 成果・課題

福祉分野と密接に関連する虐待にかかわって、学校での適切な対応について学

んだことを学校内で共有し、実践につなげる必要がある。

人権ワークショップを児童・教職員・保護者等で共有できたことにより、一体となった取組ができた。また具体的な事例をワークショップで実施したことにより、児童の実践につながる取組となった。

学校では、未然防止、早期発見・早期対応を基本としながらも、いじめ調査のみでなく、生活調査等を実施するなど、日頃から随時、児童生徒や保護者の思いを把握することに努めている。また、いじめ防止にかかる取組を継続的に実施し、教職員が毅然とした姿勢を児童生徒や保護者に見せることで、学校のみでなく地域や保護者との共通理解のもと、連携した見守りを行った。継続した取組によって教職員の認識もより高まり、統一した認識のもと学校経営を行うことができた。

#### 【いじめ調査結果】

第1回（文部科学省調査）	いじめと感じた人数	1,949人	2,985件
第2回		1,123人	1,945件

不登校総合対策事業として取り組んだ心の安定基地づくり推進事業においては、訪問指導員や訪問専門指導員の配置によって、家庭と児童生徒、学校とをつなぐことができ、適応指導教室「けやき広場」での個々に応じた指導・支援によって7人の中学3年生のうち6人は進学を果たすことができ、2人は学校復帰できた。

また、教育相談では、福祉や医療分野と密接な連携を必要とする複雑・困難なケースが増えている中、臨床心理士を中心に適切な支援を行うことができた。

家庭の教育力等に課題のある児童生徒や保護者を家庭訪問で支援し、教育の機会均等に尽くした。

不登校出現率 本市 小学校 0.29% 中学校 2.54%

本市では、発達障害のある子どもの支援を保健・福祉・医療・教育が連携して行う支援連携が徐々に浸透しつつあり、就学前スクリーニングは97%の幼児に、思春期スクリーニングは58%の児童に行うことができた。学校現場にも自校外の専門家が複数体制で支援を行う体制が徐々に整いつつあり、発達障害を含む困り感をもった子どもの多角的な理解や支援が更に進んだ。

今後は、思春期スクリーニングの実施校を拡大し、全市的なスクリーニングシステムとする必要があるが、学校支援巡回チームの相談員が不足しており、各校が希望する時期に全小学校で実施をすることは困難な状況であるため、実施時期及び相談員の確保についても検討していく必要がある。

#### 関係事業

いじめ根絶対策事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.41
心の安定基地づくり推進事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.41
人権教育研修事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.42
家庭教育支援事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.38

スクールカウンセラー活用事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.42
特別支援教育推進事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.40

平成24年度「学校教育の重点」に示す重点項目2

**② 学習指導要領を踏まえた教育課程を編成し、確かな学力を身につけさせる**

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

**実施状況**

**○学力充実の取組**

全国学力・学習状況調査や京都府学力診断テストを学力向上の検証機会としてとらえ、児童生徒の学力を把握するとともに、結果を分析し、学力の向上のための改善策を検討・実施した。課題のある学校には指導主事が訪問し、改善策を確認し、指導を行った。

基礎学力の定着のため、基本的な生活習慣や学習習慣の確立について各家庭と連携し、補充指導等の取組を行った。

文武向上プラン学校支援事業等を通して、各校で課題を把握し、授業力向上のための研究会開催や家庭学習の充実、各種検定の受検等を実施し、知・徳・体の調和の取れた児童生徒の育成を図った。

年間を通した指導主事による学校・園訪問等により、教育課程の実施状況を把握し、充実のための指導・支援を行った。

**○外国語活動・英語教育の推進**

6人の英語指導助手(AET)を小中学校に配置し、体験活動や授業等に効果的な活用を図った。

**○理科教育の推進**

本市名誉市民でノーベル化学賞を受賞された下村脩博士の功績を伝え、将来の夢の実現の一助としてもらうため、夏休みを中心とした理科作品を募集し、優秀作品を表彰・展示した。

**成果・課題**

全国学力・学習状況調査や京都府学力診断テストにおいては、全国、京都府平均を上回り、概ね良好の結果であった。学力に課題のある児童生徒への学力向上のための取組が引き続き必要である。また、活用問題に関しては、全体的に課題も見られた。教師力の向上や個々の児童生徒に応じた指導を根気よく継続することが必要である。これらの状況を指導主事と学校が共有理解のもと、方策を検討・実施することができた。

学校の課題に即応したプランの実施に関しては、実態に応じた取組の実施により、地域や保護者の学校経営に関する理解や協力も得られやすくなり、教職員の意

識も向上する中での地域一体となった支援により、児童生徒の育成を図ることができた。

AET配置活用事業により、小学校では積極的な体験活動を通してAETや英語に慣れ親しみコミュニケーションを楽しむことができ、中学校では、AETを通してネイティブスピーカーに触れる貴重な機会となり、指導を受けて積極的に自己表現ができるなどコミュニケーション能力の向上につなげることができた。発音のみならず、AETを生かしたT・T（チームティーチング）による授業改善を更に図る必要がある。

下村脩グランプリは学校教育振興会と共催であり、児童生徒への周知等、効果的な取組ができた。応募作品は1,969点にのぼり、過去最高の点数となった。

#### 関係事業

文武向上プラン学校支援事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.38
基礎学力定着事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.38
総合的な学習研究活動推進事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.38
AET配置活用事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.38
下村脩グランプリ事業	【学校教育課】	事業評価	A	P.38

#### 平成24年度「学校教育の重点」に示す重点項目3

#### ③ 保幼小中一貫・連携教育「シームレス学園構想」の一層の具現化を図り、その成果を広く市民に周知する

項目に対する評価 **B** （計画どおり目標は達成できた）

#### 実施状況

##### ○つなぎ目のない教育の推進

○シームレス学園構想の具現化としての愛称・夜久野学園の開校に向け、担当指導主事や連携コーディネーターを置き、先進校となるべく取組を行った。

○教科等専門研究員の研究を推進し、情報の共有化と授業力の向上を図った。

○「学校教育フェスティバル」を開催し、ブロック活動の成果の発表、並びに教育実践論文「けやき賞」の発表を行い、教育活動を市民に周知した。

○中学校ブロックでの一貫・連携教育を推進するため、小学校等での合同授業や行事、小学校と中学校、小学校と高等学校と校種を超えた授業を中心とした交流を実施した。この取組に必要な経費を補助金として支援し、また取組に必要なバスの経費を支出した。

○幼稚園から小学校への円滑な接続のための指導計画を作成、取り組みを進めた。

## 成果・課題

シームレス学園構想に基づいた取組の実施により、適正な規模での授業の実施ができ、ブロック間の児童生徒、また教員同士の交流により、状況の把握や系統性のある教育活動を行うことができた。

小学校と高等学校の連携では、書道や音楽において専科教育を行うことができ、より専門性のある授業の実施や高校への見通しを持つことにつながった。また、教員においては高等学校の教員の指導方法を見ることで授業研究において成果があった。

保護者や地域への配布物、家庭学習の手引きや小学校から中学校への準備ドリル等によって、家庭や地域へつなぎ目のない教育を紹介し、理解につながった。

学校教育フェスティバルにおけるブロックの取組発表によって、シームレス構想の具体的取組を市民に周知することができた。しかし、より多くの参加や内容検討を行う必要がある。

各教科における指導力の向上を図るため、授業研究会等を開催し、教科等専門研究員が授業改善の中核的役割を担った。

## 関係事業

まなびのつながり強化推進事業	【学校教育課】	事業評価	A	P.38
教育活動指導援助事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.39

## 平成24年度「学校教育の重点」に示す重点項目4

### ④ 東日本大震災等の教訓に学び、子どもたちの安心・安全を確保する取組を一層進める

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

## 実施状況

### 【学校教育課】

児童生徒が、地震や風水害による危険察知や避難方法、家庭での防災対策を知り、自らの命をどうすればよいのかを考え、行動する力を育成するため防災無線を活用した全市一斉学校防災訓練(避難訓練)を行うとともに、防災センターでの体験学習を行ったほか、教職員が防災教育のリーダーとしての自覚を高め、実践力を身につけ指導できるよう教職員対象の防災研修会の実施と応急手当普及員講習会の実施を行った。

また、福知山市子ども安全対策連絡協議会を中心として学校・幼稚園と地域社会が連携を図り、見守り活動や講演会などを通して子どもの安全を守る環境整備を進めた。

#### 【教育総務課】

耐震補強工事により学校施設の耐震化を促進し、安心・安全の確保及び教育環境の改善整備を図った。また、学校施設のバリアフリー化を推進し、児童・生徒の円滑な学校生活の確保を図った。

#### ○小学校耐震改修

- ・実施設計（惇明小学校教室棟・昭和小学校特別教室棟・雀部小学校 管理棟・屋内運動場（東）・下六人部小学校教室棟他・美鈴小学校屋内運動場・有仁小学校屋内運動場・校舎棟）
- ・改修工事（美河小学校屋内運動場・細見小学校管理棟・上六人部小学校管理棟・惇明小学校屋内運動場・昭和小学校普通特別教室棟・美河小学校校舎棟）
- ・耐震診断（上豊富小学校屋内運動場・美鈴小学校 校舎棟他・有仁小学校屋内運動場・昭和小学校特別教室棟・有仁小学校校舎棟他・下六人部小学校教室棟他）

#### ○中学校耐震改修

- ・耐力度調査（桃映中学校教室棟）
- ・実施設計（南陵中学校管理棟及び特別教室棟）
- ・耐震診断（日新中学校屋内運動場・技術棟、桃映中学校屋内運動場）

#### ○学校施設のバリアフリー化

- ・日新中学校 教室棟便所改修工事

### 成果・課題

#### 【学校教育課】

子どもたちが防災訓練の実施や防災センターでの体験学習によって、地震や風水害による危険察知や避難方法について、自らの命を守るためにはどうすればよいのか考えるきっかけとなった。また、普通救命講習会における講師役となる応急手当普及員の修了者を各校1名は養成することができた。

#### 【教育総務課】

診断結果をもとに今後の各施設の補強計画の具体化が促進されると共に、耐震補強工事により学校施設の耐震化が促進され、安心・安全の確保及び教育環境の改善整備を図った。

施設のバリアフリー化により、対象児童の安全・安心の確保及び教育環境の改善・整備を図った。



**関係事業**

子ども安全対策事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.43
実践的防災教育総合支援事業	【学校教育課】	事業評価	B	P.43
小学校耐震改修事業	【教育総務課】	事業評価	B	P.52
中学校耐震改修事業	【教育総務課】	事業評価	B	P.53
幼稚園耐震改修事業	【教育総務課】	事業評価	B	P.52
学校施設のバリアフリー化事業	【教育総務課】	事業評価	B	P.54

## 平成24年度「学校教育の重点」に示す重点項目5

**⑤ 学校と地域社会との連携を深め、地域社会の知恵と力を活かした教育環境づくりを進める**

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

**実施状況**

土曜日を活用した教育の在り方実践研究指定校として、夜久野中学校が取組を行った。学校を地域等に開放してクラブ活動や授業見学を行った。

また、学校だよりでの学校取組の紹介を行うとともに、地域社会に開かれた学校づくりを一層推進していくため、学校評議員のみなさんに学校の課題や状況について意見等を求め学校経営に反映させた。

美河小学校を本市立小中学校で唯一のコミュニティ・スクールに指定し、学校と保護者や地域のみなさんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を推進した。

また読書活動や各種、地域ボランティアの協力によって地域との連携を深めることができた。

昼休み等を中心とした市歌や行事等における市民憲章の紹介によって、ふるさとへの愛着形成に努めた。

**成果・課題**

学校便りでの周知や地域、家庭との連携で子どもを育成することができた。引き続き、地域の意見を聞いて開かれた学校経営を行う必要がある。

## 平成24年度「社会教育の重点」に示す重点項目1

**⑥ 社会総がかりで進める「家族だんらんの日」の取組を通して、家庭・地**

<b>域社会の絆を強める</b>				
項目に対する評価		<b>B</b> (計画どおり目標は達成できた)		
<b>実施状況</b>				
<p>○「家族だんらんの日」を周知するために、啓発のぼり旗を計 300 本作成して各学校等関係施設に掲出し、各公民館ブロックでも毎月 11 日の家族団らんの日に合わせて、ポスターやのぼり旗で啓発活動を展開したほか、各学校園だよりの行事欄への掲載も毎月実施し、社会総がかりで取り組む機運の醸成を図った。</p> <p>○家族や地域の絆づくりの優良事例紹介として、「家族だんらんの日」にちなんだ手紙や作文を募集し、応募 583 点の中から 51 点を選考して啓発文集『家族でふれあう むすびあう』を発行(32,220 部)し、市内全戸に配布して身近な取組みを紹介した。</p>				
<b>成果・課題</b>				
<p>○「家族だんらんの日」の取組みは、市民に浸透してきた。</p> <p>○啓発文集は、「大変よいものができた。」「我が家の団らんの参考にさせてもらおう。」など、多くの賞賛をいただき、所期の目的を達成する成果があった。</p> <p>○今後は「家族だんらん」から「地域だんらん」への広がりを進める取組みが課題となっている。</p>				
<b>関係事業</b>				
こだま教育運動事業	【担当課	生涯学習課】	事業評価	B P.49
「心の教育」実践活動	【担当課	生涯学習課】	事業評価	B P.49
青少年健全育成事業	【担当課	生涯学習課】	事業評価	B P.49
<b>その他(参考資料)</b>				
啓発文集『家族でふれあう むすびあう』				

平成 24 年度「社会教育の重点」に示す重点項目 2				
<b>⑦ 若者や市民をまきこんだ社会教育事業を推進する</b>				
項目に対する評価		<b>A</b> (計画以上の成果が得られた)		
<b>実施状況</b>				
○こども大会や青少年健全育成大会・成人式の運営については、従来から職員が				

担当していたが、小中学生や高校生を起用し若者の参画を図った。また、それぞれのアトラクションにおいても、中高校生のクラブ活動の成果発表の場となるよう積極的に起用した。

○成人式については運営ボランティアを高校生から募集し、市内各高校から 26 名の参加を得たほか、華道・茶道の市民団体の協力を得て新たな取組みを実施した。

また、市内の高等学校に呼びかけて、新成人を激励する横断幕を掲出した。

#### 成果・課題

○若者が参画する事により、参加者へ新鮮な印象を与えることができ、各行事が活性化し、参加者からも賞賛の声が寄せられ、『「若者の声が響くまち」を目指して』を提言された社会教育委員会でも大変良い評価をいただいた。

○若者や市民がもっと多くの事業に参画してもらえるように各事業を企画するとともに、若者や市民による企画運営事業を創出する必要がある。

#### 関係事業

青少年健全育成事業 【担当課 生涯学習課】 事業評価 B P.49

成人式事業 【担当課 生涯学習課】 事業評価 A P.50

平成 24 年度「社会教育の重点」に示す重点項目 3

#### ⑧ 人権問題に関する意識調査結果を踏まえた人権教育を実施する

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

#### 実施状況

##### ○人権講座・人権学習会の実施

・人権研修の回数と人権意識の深さは比例していることが明らかになっていることから、生涯各期を見通し、保育園・幼稚園・学校（PTA）・地域公民館・教委・市が学社連携により、学校並びに地区公民館において人権講座を行い、児童、生徒、その保護者である 30 代から 40 代の若年層や壮年以上各層の参加者を得て、人権意識の高揚が図れた。

(参加者目標 4,200 人 → 参加実績 4,897 人 23 年度実績 4,067 人)

(実施回数は目標どおり 31 回を達成)

・地区公民館が各自治会単位で学習課題を設置し、さまざまな人権問題を白らの問題として捉える学習会が実施できた。(回数 81 回)

- ・子どもたちが心豊かな人権感覚を身につけるため、保育園・幼稚園・小学校・中学校人権教育研修をPTAが核となり実施できた。(回数 111回)
- ・企業人権教育推進協議会において人権の視点から企業の社会的責任を明らかにし新入社員、トップ、人権担当者を対象とした研修会を実施すると共に、人権ビデオ巡回研修の実施等人権啓発を行った。
- ・意識調査の結果を踏まえた人権啓発ビデオ教材を購入し研修に活用した。

### 成果・課題

- 人権講座並びに人権学習会を実施することで、人権問題を正しく理解する機会となり、生涯各期を通じた啓発ができた。
- 講師選定や内容を充実し、より多くの参加者確保を図ると共に、講座が学習後に発展的な取り組みが出来るよう、それぞれのテーマに沿った事業展開の工夫が必要である。

### 関係事業

共に幸せを生きる人権講座	【担当課	生涯学習課】	事業評価	B	P.47
公民館・企業巡回人権教育講座事業	【担当課	生涯学習課】	事業評価	B	P.47
人権教育学習教材事業	【担当課	生涯学習課】	事業評価	B	P.47
人権教育・啓発推進補助事業	【担当課	生涯学習課】	事業評価	B	P.48

## 平成24年度「社会教育の重点」に示す重点項目4

### ⑨ 教育集会所活動の充実

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

#### 実施状況

- 集会所活動の企画立案に重要な集会所職員の資質の向上  
毎月一回、教育集会所職員としての視点、人権認識を深める研修、魅力ある講座のプログラムの開発などについて職員研修会を実施した。
- 講座・研修・交流会への支援  
事業目的を達成し、魅力ある活動にするため、教育集会所職員だけに任すことなく担当係職員との複数体制で活動を実施した。  
また、各集会所の活動を交流しあうことで互いに学び合うことができた。
- 地域とのつながりを深める  
機会あることに地域活動に参加し地域の方々と会話することで、人々の思いや集会所活動に何を望んでいるかを知る。

## 成果・課題

- 毎月の職員研修とフィールドワーク（ハンセン病療養所）を実施し、差別の現実を学ぶことができた。
- 集会所活動参加者の目標を4,300人としていたが6,682人と大きく目標が達成できた。（H23 利用回数 3,599 回、利用者 34,689 人が H24 利用回数 3,953 回、利用者数 34,811 人と増加した）
- 人権教育係の職員が担当館を決め定期的に訪問し指導助言、施設職員の問題解決に努めた。
- 様々な地域活動に参加し、自治会、子ども会、老人クラブ、女性団体との連携が一層図れたことにより集会所活動の充実が図れた。
- 集会所職員一人の職場では、その職員の指導力が集会所活動を左右することから、職員の資質の向上は、人権講座、学習会等のきめ細かな企画立案に反映するため、今後もあらゆる研修機会を設ける必要がある。

## 関係事業

教育集会所管理事業	【担当課 生涯学習課】	事業評価	B	P.48
教育集会所学習活動事業	【担当課 生涯学習課】	事業評価	B	P.48

平成24年度「社会教育の重点」に示す重点項目5

- ⑩ 天然記念物総合調査を進めるとともに、名勝としての大江山、福知山城下町地域を主とする町並みなど歴史的な景観の保全に向けた、調査・研究を進める

項目に対する評価 **B** （計画どおり目標は達成できた）

## 実施状況

### ○天然記念物等総合調査

福知山市の自然の詳細を調査し、冊子「(仮)福知山の自然」を作成するとともに、天然記念物としての保全保護を図るため天然記念物等総合調査事業の3か年計画の2か年目。平成24年度は全市民対象に実施した情報募集などを元にした現地調査を中心に活動し、実行委員会(月1回定例)や分野別会議などで検討を重ねた。また、一般参加の公開調査(第2～7回)を実施し、普及啓発の機会とした。

- ・情報募集「あなたがおもう福知山の自然」

### ○名勝大江山調査事業

文化庁委託による2か年計画事業(委託事業名：福知山市の名勝に関する特定の調査研究事業)。「文学と伝説の山 大江山」を主題にして、大江山における文学とのかかわりの検証と伝説の保護のために必要な情報の集約を図り、文化庁

の指定名勝候補地としての基礎資料を得るために行う事業。本年度は、大江山の文学・伝説にかかる調査方法などの検討及び国定公園第1種規制地内(名勝指定候補地)の土地登記関係の調査を行った。

#### 成果・課題

##### ○情報募集「あなたがおもう福知山の自然」

情報総数518件（有効数444件、不明・無記入74件）

実行委員会開催回数14回、現地調査市民公開調査全6回(一般市民延べ64名参加)

事業のまとめとして平成25年度に普及・啓発冊子を刊行予定であり、市民理解を得て、今後とも市民協働により、積極的な保護・保全活動を推進することが望まれる。

○大江山の名勝としての潜在的な力を改めて確認することができた。活用に向けての新たな側面からのPR、アプローチを検討する。

対象地域が広範囲に及ぶため、指定及び登録に関しての地権者の承諾、また京都府の指導を仰ぎながら、与謝野町、宮津市等の協力を得ることが必要である。

#### 関係事業

天然記念物等総合調査(H23～H25 事業)【担当課 生涯学習課】事業評価 B P.51

名勝大江山調査事業(H24、H25 事業)【担当課 生涯学習課】事業評価 B P.51

平成24年度「社会教育の重点」に示す重点項目6

#### ⑪ 公民館講座等の活動を通じ、地域において環境等の現代的課題への取組や子どもの健全育成を推進する

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

#### 実施状況

##### ○地域住民の学習ニーズに応える学習活動や情報提供による地域コミュニティの育成

少子高齢化の進展や都市化、核家族化等の様々な社会環境が変化していく中で、人と人との絆や地域の絆が薄れ、地域の連帯意識が希薄化してきている今日において、地域活動の拠点施設である公民館は地域連帯意識の形成に重要な役割を担っている。地域住民の学習ニーズに応える学習活動や情報の提供を行い、地域コミュニティの育成を図ると共に、学習の成果や地域特性を活かし、親子や世代間で体験できる活動等を実践し、学校と地域社会の連携等によって、より一層充実した取組を推進することができ、家庭教育の支援に繋がった。

○地域の絆を強め、子供の成長を地域社会全体で支え、安心・安全に活動できる

## 地域づくりの推進

地域住民や関係諸団体との連携を密にして「心の教育」実践活動を推進し、地域の絆を深めるとともに、教育力を高め、併せて、市立公民館や自治公民館が公民館活動の重点を明確にしなが、学校や地域関係団体との連携を強化・発展させ、生涯学習社会における学習環境の整備・充実に努めた。

### ○各種「ボランティア講座」の開催によるボランティア意識の醸成

地域住民及び公民館で活動するクラブ・同好会が主催する各種の「ボランティア講座」等の開催にあたり、講座でのサポートや実践活動を通じてボランティア意識の醸成を図った。

### ○公民館活動による地域社会の教育力向上に向けた、地域の人材活用と指導者の養成

中央公民館では高齢者の深い知識と経験を活用するために「市立公民館人材銀行」に登録し、地域や各種団体からの要請に基づき、蓄積された知識や技能の継承・伝達に努め、地域の公民館活動や各種団体、サークル、組織等の要請に応じるなど、永年積み上げてきた知識・技能の伝承を図った。

### ○専門性とコーディネート能力の向上を目標とした職員研修の充実

職員が国際化や情報化、高齢化などによる社会的要請や学習ニーズ等を広い視野に立って把握する能力を培うための研修会等への参加を呼び掛けた。

## 成果・課題

### 成 果

市立公民館は、講座や事業の開催、地域間交流、人権研修などの活動を行い、地域の生涯学習を推進する社会教育の拠点施設として重要な役割を担っており、地域づくりや地域の絆づくりに向けて、積極的な活動の展開を図ってきた。

また、学校、家庭及び地域社会との連携を密に図りながら、次代を担う子供たちの育成をはじめとした現代的課題や地域的課題の共有に努め、様々な課題解決に向けた事業展開を図ってきた。

また、併せて、自治公民館である地区公民館は、地域住民や自治会、学校等の関係諸団体等の連携により、地域での学習活動や地区住民の交流はもとより、公民館活動を通じて、人づくりや人と人のつながりを築き、地域課題の解決に向けた様々な活動や地域づくりの活動を展開し、地域の生涯学習を推進すると共に、社会教育施設として地域の活性化に努め、併せて、学校、家庭及び地域社会の連携を基として、次代を担う子供たちの健全育成に努めた。

### 課 題

昨今の社会環境は高度情報化の進展や急速な少子高齢化などにより、大きく変貌していく中で、地域の絆が薄れ、子育てや青少年健全育成の推進の観点から様々な課題点が生じてきており、そのためにも公民館が果たすべく役割や事業のあり方等についての求められるべき要求は日々多様化してきており、今後とも常に斬新な発想のもとで、事業展開を図っていくことが重要である。

については、公民館活動がより充実した内容としていくためにも、従来から実施してきている講座や事業等について様々な観点から検証を加え、公民館活動の形骸化を防止するため、市民ニーズの把握に努め、福知山市立公民館運営審議会や公民館連絡協議会等のあらゆる機会を通じて、地域や関係機関並びに公民館関係者等の意見集約を行うと共に、各講座及び事業の終了時においてもアンケート調査を実施するなど、今後の事業展開を見据えた市民ニーズの把握に努めることが重要であり、新たな講座等の発掘や時代的背景に即した内容を取り入れるための検討を深めていくことが必要ある。

#### 関係事業

中央・地域公民館講座等開設事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.45
地区公民館育成事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.45
公民館連絡会・連絡協議会	【中央公民館】	事業評価	B	P.45
高齢者ボランティア活動推進事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.45
市民会館・市立公民館管理運営事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.46
公民館施設の整備・改修	【中央公民館】	事業評価	B	P.46
公民館活動研修事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.46

平成24年度「社会教育の重点」に示す重点項目7

#### ⑫ 図書館利用者の多様なニーズに応え、ネットワークを活用したサービスの充実に努める

項目に対する評価 **B** (計画どおり目標は達成できた)

#### 実施状況

##### ○各館への配本業務の強化

・平成23年度から中央館、分館それぞれ所有している本が、システムの統合により有効活用できるようになった。今年度は各館にある資料をより早く利用者へ届けるため配本業務を強化し、サービスの充実に努めた。

##### ○選書の工夫

・各館の蔵書状況を確認しながら、購入する本、市内から取り寄せる本、市外の館から取り寄せる本を即座に判断し、利用者への資料の提供を行った。

##### ○新中央館開館に向けての準備

・新中央館(平成26年開館予定)の開館に向けて、魅力ある施設とするため資料の購入を行った。(2か年計画の1年目)



## 成果・課題

### ■各館の年間貸出冊数

- ・中央館 311,074冊（前年比2,564冊増）※移動図書館含む
- ・三和分館 14,565冊（前年比1,456冊増）
- ・夜久野分館 34,899冊（前年比209冊増）
- ・大江分館 12,966冊（前年比828冊増）

### ■成果

- ・各館とも微増ではあるが、昨年を上回る貸出冊数となった。また、新図書館の開館に向けた資料整備ができた。

### ■課題

- ・平成26年度の新中央館の開館に向けて、更なる図書館サービスの充実を図るための資料の選定やサービス内容の検討が必要である。また、各分館でも地域の特徴を生かしたサービスの提供ができるよう検討し、中央館・分館相互で図書館の魅力を増す施設になるよう努める。

## 関係事業

資料収集整理事業	【担当課 図書館】	事業評価	B	P.46
中央館運営事業	【担当課 図書館】	事業評価	B	P.46
三和分館運営事業	【担当課 図書館】	事業評価	B	P.46
夜久野分館運営事業	【担当課 図書館】	事業評価	B	P.46
大江分館運営事業	【担当課 図書館】	事業評価	B	P.46
読書活動支援事業	【担当課 図書館】	事業評価	B	P.46

## その他の項目

### ⑬ 夜久野地域の3小学校の統合と小中一貫校「夜久野学園」の開園準備

項目に対する評価 **B** （計画どおり目標は達成できた）

#### 実施状況

夜久野地域の精華小学校、育英小学校、明正小学校を閉校し、平成25年4月の3小学校統合による「夜久野小学校」の開校と、京都府北部初の小中一貫校「夜久野学園」の開園に向けての準備を進めた。

小学校の統合と小中一貫校開園にあたっては、地元と夜久野学園推進協議会を組織し、定期的に協議をしながら進めた。

統合記念誌を発刊し、町内各世帯や関係者に配付した。

小中一貫校の開園にあたって、小学校用の普通教室棟の増築、小学生も利用する

中学校校舎の改修や遊具を設置するとともに、児童生徒の安心安全な通学を支援するためにスクールバス2台（45人乗り1台、29人乗り1台）購入し、スクールバス6台体制が整った。

その他、必要な備品を購入し、校章の確定など開校、開園の準備を行った。

また、3小学校の閉校式を3月24日にそれぞれ開催。地元をはじめ多くのみなさまの出席を得て、学校の歴史を閉じた。

### 成果・課題

3小学校を閉校、平成25年4月の「夜久野小学校」開校と、小中一貫校「夜久野学園」の開園に向けて準備が整った。

地元や学校から施設の修繕など多くの要望が寄せられ対応したが、いくつかの要望については工期の問題等により、次年度以降に持ち越しとなった。これらの課題についてはできるだけ早期に解決する。

学校統合による新設校の設置は、旧町ではあったが本市ではここ数十年を見ても例がない統合で、今後の学校統廃合にあたって、ノウハウが蓄積できた。

現在、教育委員会では、学校教育改革推進プログラムを公表し、市立学校の統廃合を進めている。また、シームレス学園構想として保幼小中一貫・連携教育を進めており、開校する「夜久野小学校」と「夜久野学園」に対する期待も大きく、「統合してよかった」「小中一貫校でよかった」といわれるよう、学校・学園運営をしっかり支援していかなければならない。

### 関係事業

(仮称) 夜久野学園整備事業・・・小学校普通教室棟増築

教育総務課】事業評価 B P.54

(仮称) 夜久野学園スクールバス購入事業【教育総務課】事業評価 B P.54

(仮称) 夜久野学園備品購入事業【教育総務課】事業評価 B P.54

(仮称) 夜久野学園準備事業（統合の準備・閉校式の準備）

【教育総務課】事業評価 B P.54

中学校施設設備改修事業（小中一貫校に向けて夜久野中学校改修）

教育総務課】事業評価 B P.54

上記5事業の決算額の合計 209,397,504 円

## 8 平成24年度の新規事業

事業名	(仮称) 夜久野学園準備事業	担当課	教育総務課
事業内容	夜久野学園の開校に伴い、統合の準備・閉校式の準備等を行う		
事業名	(仮称) 夜久野学園スクールバス購入事業	担当課	教育総務課
事業内容	夜久野学園の開校に伴い、遠距離通学生徒の通学手段として、スクールバスを運行するためにバスの購入を行う。		
事業名	(仮称) 夜久野学園備品購入事業	担当課	教育総務課
事業内容	夜久野学園の開校に向けて、必要な備品を整備する。		
事業名	中学校配膳室整備事業	担当課	教育総務課
事業内容	旧市内(6中学校)で完全給食の実施に伴い、必要な物品を購入することにより、スムーズに給食が実施できるようにする。		
事業名	北陵中学校解体事業	担当課	教育総務課
事業内容	廃校となった旧北陵中の校舎を解体する。		
事業名	桃映中学校北校舎改築事業	担当課	教育総務課
事業内容	学校施設の耐震化促進及び教育環境の充実のため、昭和42年建設の教室棟(北校舎)の改築を計画する。		
事業名	幼稚園耐震改修事業	担当課	教育総務課
事業内容	耐震診断の実施及び耐震改修工事を実施し、幼稚園施設の耐震化を促進する。		
事業名	幼稚園保育料収納システム導入事業	担当課	教育総務課
事業内容	現在の制度や要綱に合う新幼稚園保育料収納システムを導入することで、事務を効率化するとともに、旧システムの保守切れによる対応不可能な状況を回避する。		
事業名	特別支援教育推進事業	担当課	学校教育課
事業内容	発達障害早期支援事業と特別支援教育総合推進事業を統合		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前スクリーニングの実施及び事後支援を行う。</li> <li>・思春期スクリーニング及び事後支援の充実及び全校実施に向けて事業の検証を行う。</li> <li>・昭和小学校通級指導教室に補助員を配置し、相談支援体制を強化する。</li> <li>・相談支援ファイルや各移行期における移行支援シートの機能的な活用についての検証を行う。</li> </ul>	
事業名	実践的防災教育総合支援事業 担当課 学校教育課
事業内容	<p>災害時において子どもたちが主体的に行動する力の育成と防災教育のリーダーとなる教職員の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急手当普及員講習会</li> <li>・防災無線を活用した避難訓練の実施</li> <li>・教職員学校防災指導者研修会</li> <li>・防災センターでの体験学習</li> </ul>
事業名	勤労青少年ホーム耐震診断事業調査業務 担当課 生涯学習課
事業内容	<p>昭和50年3月に竣工して、38年が経過している施設の耐震調査を実施する。</p>
事業名	名勝大江山調査事業 担当課 生涯学習課
事業内容	<p>文化庁委託による2か年事業(委託事業名：福知山市の名勝に関する特定の調査研究事業)。「文学と伝説の山 大江山」を主題にして、大江山における文学とのかかわりの検証と伝説の保護のために必要な情報の集約を図り、国の指定名勝候補地としての基礎資料を得るために行う事業。本年度は、大江山の文学・伝説にかかる調査方法などの検討及び国定公園第1種規制地内(名勝指定候補地)の土地権利関係の調査を行う。</p>
事業名	市民交流プラザふくちやま図書館資料購入事業 担当課 図書館
事業内容	<p>「(仮称)市民交流プラザふくちやま」基本計画に基づき、新図書館中央館の開館に向けて、2年間で資料整備を図ることで、図書館の魅力を増し、本を介した交流の場、地域の情報拠点としての機能を高める。</p>
事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金積立事業 担当課 図書館
事業内容	<p>将来を担う子どもたちの読書活動の振興に役立ててほしいと、多額の寄附をいただいた思いを大切に、基金として積み立て、子どもの読書活動の振興に活用する。 ■積立金：2億5千万円</p>

## 9 平成23年度をもって廃止した事業

事業名	教育のまちづくり推進事業	担当課	教育総務課
事業廃止理由 子どもたちの教育環境の改善や教育効果を高めるために、幼・小・中一貫連携教育の推進を図るとともに、適正規模・適正配置の課題と中長期的な方向（福知山市学校教育改革推進プログラムを策定）を示すことが完了した。			
事業名	遷喬幼稚園用地取得事業	担当課	教育総務課
事業廃止理由 遷喬幼稚園の来訪者並びに職員の駐車場として使用するための用地の取得が完了した。			
事業名	発達障害早期支援事業	担当課	学校教育課
事業廃止理由 他事業との統合（特別支援教育総合推進事業と統合し、特別支援教育推進事業とした。）			
事業名	特別支援教育総合推進事業	担当課	学校教育課
事業廃止理由 他事業との統合（発達障害早期支援事業と統合し、特別支援教育推進事業とした。）			

4 事業

## 10 おわりに

平成25年度の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に基づく、福知山市教育委員会が行った教育に関する事務の点検・評価につきましては、学識経験者3名からの幅広い見地からの貴重な御意見をいただきながら、「平成24年度福知山市教育の重点」に示す学校教育の重点5項目及び社会教育の重点7項目、その他、教育委員会として評価すべき事項と判断した1項目の計13項目を中心に点検・評価を実施しました。

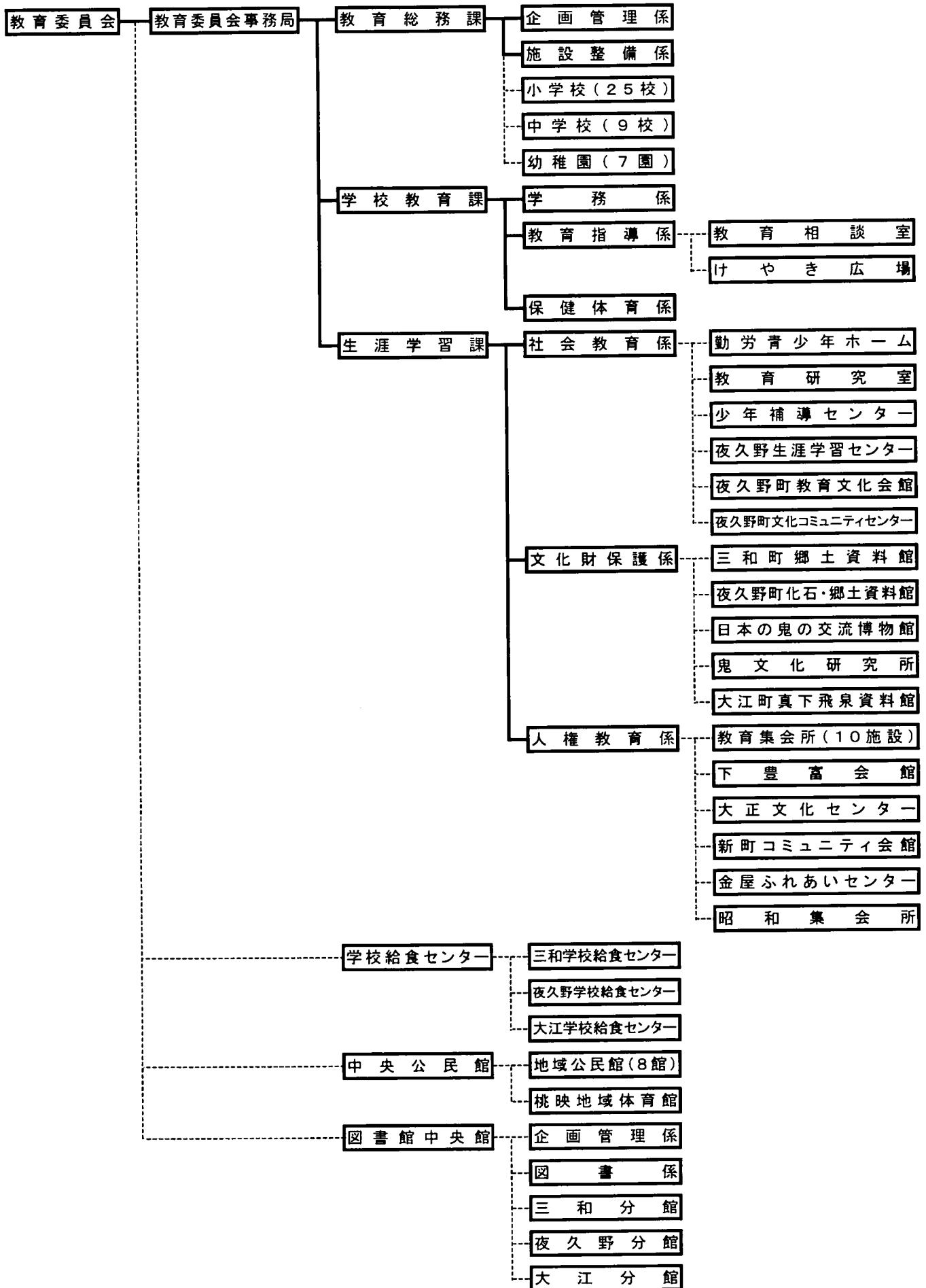
この13項目に係る事業は、平成24年度事務事業128事業のうち50事業で、項目に対する評価は、1項目がA評価（計画以上の成果が得られた）、12項目をB評価（計画どおり目標は達成できた）とし、計画通り展開することができました。

また、本報告にも記載していますが、より効果的な事務事業とするには、それぞれの項目には課題もありますので、更に点検・改善しながら進めてまいります。

この教育委員会教育事務に関する「点検・評価」については、その結果を議会に報告し公表することにより、教育委員会の責任体制の明確化を図るものとして、地教行法に義務づけられています。福知山市教育委員会といたしましても、毎年の事務事業の結果を点検・評価したうえで、その改善策を検討しこれを実行に移すという、いわゆるPDCAサイクルの過程を公表していくことは、教育委員会の果たすべき役割とその意義を、広く市民の皆様にご覧いただく絶好の機会であると捉えています。

今後この「点検・評価」により、自己の業務を振り返り更なる改善に努めるとともに、市民の皆様に対してより一層わかりやすく丁寧な説明を心がけ、市民の皆様とともに歩む教育行政の推進に取り組んでまいります。

11 資料 (1) 教育委員会組織機構図



(2) 教育委員会事務分担表

<p>教育総務課</p>	<p>委員会の議事及び秘書に関すること。          儀式及び表彰に関すること。          条例、規則等の制定、改廃等法制に関すること。          市費負担職員の人事、給与及び服務に関すること。          学校の設置、廃止及び認可に関すること。          学校施設の整備に関すること。          学校の教材、教具及び設備に関すること。          幼児の就園に関すること。          委員会の重要施策の総合調整及び統括に関すること。          委員会の予算の調整及び執行管理に関すること。          委員会の職員の研修及び能力開発に関すること。          委員会の主管事務に係る法制に関すること。          委員会の所管に係る財産管理の総括に関すること。          委員会の広報及び広聴に関すること。          分掌事務に係る教育行政に関する相談。          他課の主管に属しないこと。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>府費負担教職員の人事、給与及び服務に関すること。          教職員の研修及び健康管理に関すること。          教職員の組織する職員団体に関すること。          学校教育の指導に関すること。          児童生徒の就学、その他学事に関すること。          高校生、大学生等の就学奨励及び修学奨励に関すること。          学校給食並びに学校保健体育及び安全に関すること。          分掌事務に係る教育行政に関する相談。          その他学校教育に関すること。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>生涯学習に関すること。          成人教育、青少年教育及び婦人教育に関すること。          人権教育に関すること。          社会教育施設の整備に関すること。          少年補導センターに関すること。          勤労青少年ホームに関すること。          三岳青少年山の家に関すること。          文化財保護に関すること。          文化財施設の整備に関すること。          ユネスコ活動に関すること。          分掌事務に係る教育行政に関する相談。          その他社会教育に関すること。</p>
<p>学校給食センター</p>	<p>学校給食センターの管理運営に関すること。          給食数の把握及び調理食数の指示に関すること。          給食川食材料費の支出事務及び給食費会計決算事務に関すること。</p>
<p>中央公民館</p>	<p>公民館の管理運営に関すること。          公民館の育成に関すること。          公民館講座に関すること。</p>
<p>図書館中央館</p>	<p>図書館の管理運営に関すること。          図書資料の選定・管理に関すること。          移動図書館の運行管理に関すること。</p>



(3) 「教育の重点」の施策方針に対する取組状況

施策方針	確かな学力をはぐくむ教育の推進
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導 学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程を適切に実施し、個に応じた指導の推進により、確かな学力（質の高い学力）を身に付けさせる。</li> <li>・幼稚園教育 幼稚園教育要領に即し、遊びを通しての総合的な指導により人間形成の基礎を培うとともに、子どもの発達や学びは連続しており幼児期の教育と小学校教育とを円滑に接続することが望まれる。</li> </ul>
実施、取組状況	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>○総合的な学習研究活動推進事業 ・小中学校の横断的・探求的な学習活動である総合的な学習に対し、補助金を支出し、支援した。 <u>【実績】 H23 2,786,400 円 H24 2,863,800 円</u></p> <p>○文武向上プラン学校支援事業 ・小中学校が立てた自校の課題に即した文武向上プランの実行に関して補助金を支出し、学力向上を図ると共に学校経営支援した。 文武向上プラン：家庭学習の手引きの作成・各種検定への参加・ 読書活動・授業改善・芸術鑑賞・マラソンの実施 ・中学校の運動部の社会人指導者派遣に謝金を支出し、人材の活用と取組を支援した。 <u>【実績】 H23 7,445,900 円 H24 7,359,600 円</u></p> <p>○まなびのつながり強化推進事業 ・保幼小中一貫教育の推進のため、保幼小・小中・小小連携活動等を進める学校の活動を補助金の支出と取組に必要なバスの運行委託経費等を支援した。 <u>【実績】 H23 2,287,659 円 H24 4,242,196 円</u></p> <p>○基礎学力定着事業 ・基礎学力定着が必要な児童生徒に対する学習に必要なドリルや用紙代を予算配分により支出した。 <u>【実績】 H23 483,653 円 H24 481,136 円</u></p> <p>○家庭教育支援事業 ・教育の機会均等に資するため、児童生徒並びに教育力に課題のある家庭の相談や児童生徒の指導・支援を行った。 <u>【実績】 H23 1,682,000 円 H24 1,742,500 円</u></p> <p>○下村脩グランプリ事業 ・本市出身でノーベル化学賞を受賞した名誉市民の下村脩さんの功績を称え、児童生徒の夢の実現に寄与するため、理科分野の作品を募り、展示した。 <u>【実績】 H23 123,259 円 H24 167,910 円</u> 作品数 1,608 点 1,969 点</p> <p>○AET配置活用事業 ・AET（英語指導助手）6人を委託契約により小中学校に配置。中学校では英語教育の充実、小学校では外国語活動と国際理解教育の推進を図った。 <u>【実績】 H23 25,920,000 円 H24 25,200,000 円</u></p>

実施、取組状況	<p>○各種学力テスト等への参加 京都府学力診断テスト並びに全国学力学習状況調査（抽出調査）に協力・参加した。いずれも平均以上であったが、応用問題では課題も見られた。引き続き、学力向上のための取組や教員の授業力向上に努める。</p>
	<p>○スクールアシスタント配置事業 教員業務の負担を軽減するとともに、教員が子どもと向き合う時間を確保できるようにするため、スクールアシスタントを緊急雇用創出事業にて、延べ30人を配置した。 <u>【実績】 H23 15,582,107円 H24 14,668,741円</u></p>
	<p>○学校図書館機能充実事業 学校図書館の環境整備、授業に必要な図書資料の準備、学校図書館を利用した子どもの居場所づくりに関する業務補助などに従事する司書教諭補助員を緊急雇用創出事業にて、延べ29人を配置した。 <u>【実績】 H23 7,817,285円 H24 12,061,920円</u></p>
	<p>○教育活動指導援助事業 児童生徒の学力向上と教職員の授業力を高めることを目的として、各種学校教育研究活動を実施した。 社会科副読本改訂・けやき賞表彰・教育講演会開催等 <u>【実績】 H23 3,386,852円 H24 3,484,855円</u></p>
	<p>○幼稚園児交流事業 全園児のふれあい交流の場を持つことで、一緒に活動することの楽しさを体験させることを目的として、市立幼稚園の園児が一堂に会する「園児のつどい」を実施した。 <u>【実績】 H23 126,576円 H24 168,390円</u></p>
	<p>○教育関係研究大会運営事業 府内各地域で実施されている京都府小学校教育研究会、京都府中学校教育研究会指定の教科・領域別研究のうち、健康安全・技術家庭の研究発表大会を開催した。 10月5日 京都府小学校教育研究大会 庵我小学校 健康安全 11月9日 京都府中学校教育研究大会 桃映中学校 技術・家庭 <u>【実績】 H23 120,000円 H24 140,000円</u></p>
	<p><b>【教育総務課】</b></p>
	<p>○私立幼稚園就園就労費補助金・・・ 15,289,600円 ・私立幼稚園へ子どもを通園させている保護者の経済的負担の軽減を図るため、就園奨励費を支給した。</p>
	<p>○私立幼稚園補助金・・・ 244,000円 ・私立幼稚園に対する運営費補助</p>
	<p>○幼稚園入園支度金・・・ 60,000円 ・経済的理由により入園の支度が困難な者へ支援した。</p>
<p>○幼稚園一般管理事業・・・ 31,315,376円 ・幼稚園管理に要する経費</p>	
<p>○幼稚園保育料収納システム導入事業・・・ 4,365,900円 ・園児管理・保育料管理を効率的に行うシステム開発を行った。</p>	

施策方針	一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす教育の推進
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導 人間としての在り方・生き方にかかわる指導を基盤にガイダンスの機能を生かし、それぞれの段階に応じたキャリア教育を通して、児童生徒一人一人の目的意識を高め、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成するとともに、校種間の連携を強め、組織的・計画的・継続的な進路指導を進める。</li> <li>・特別支援教育 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人一人を大切にした教育を行い、自立や社会参加を目指し、就学前から就労に至るまでの一貫した特別支援教育を推進する。</li> <li>・へき地・過少規模小学校における教育 へき地及び過小規模学校の特性を生かした教育課程を編成して、学力の充実・向上に努めるとともに、確かな表現力・豊かな社会性及びたくましい実践力を身に付けた児童生徒の育成に努める。</li> </ul>
実施、取組状況	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>○KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 ・個性や能力を伸ばすため、勤労や職業に関する知識を身に付けるための体験活動を行う取組に必要な経費を補助する。 <u>【実績】 H23 1,393,275 円 H24 1,202,000 円</u></p> <p>○特別支援教育推進事業 平成24年度において「発達障害早期支援事業」と「特別支援教育総合推進事業」を統合 発達障害等のある子どもの生涯にわたる一貫した支援システムの構築を図った。また福知山市就学前発達支援事業“のびのび福知っ子”の柱の一つである就学前スクリーニングや思春期スクリーニングを実施し、発達障害等の早期発見・早期支援を実施した。 <u>【実績】 H24 651,200 円</u></p> <p>○就学指導事業 対象児童生徒の適切な就・修学のため、専門家による相談・指導体制を充実し、個別の支援計画の作成や、特別支援学級等入級にあたっての個別指導、特別支援教育啓講演会・研修会、特別支援学級校外学習会等を開催し、就学指導の推進を図った。 <u>【実績】 H23 1,776,629 円 H24 2,047,153 円</u></p> <p>○小中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助事業 小中学校に在籍している児童生徒の保護者が要保護（生活保護受給者）及びこれに準ずる程度（準要保護、生活保護基準の1.5倍）に困窮し、児童生徒の就学に支障をきたす場合に支給した。 対象は、就学に必要な学用品・通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、医療費（学校病）、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費などである。</li> <li>・特別支援就学奨励事業 特別支援学級への就学のため必要な経費について、全部または一部を支給した。</li> </ul>

実施、取組状況	<p>対象は、就学に必要な学用品・通学用品費、校外活動費、新入学学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費などである。</p> <p>・その他市独自の制度として、通級指導をうける児童の付き添い交通費の援助を行った。</p> <p>【実績】小学校 H23 53,434,018 円 H24 52,833,689 円          中学校 H23 31,663,780 円 H24 34,016,069 円</p> <p>○スクールサポーター配置事業          障害があったり、日本語を理解できなかつたり、学校生活や学習活動上で教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対してスクールサポーター40人を配置した。</p> <p>【実績】H23 22,546,600 円 H24 2,470,218 円</p>
---------	---

施策方針	豊かな人間性と社会性をはぐくむ教育の推進
項目	<p>・道徳教育          道徳教育においては、学習指導要領総則における目標を十分に理解し、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて、幼児児童生徒の発達段階を考慮して、適切な指導を行い、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性の育成に努める。</p> <p>・人権教育          教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、児童生徒の実態を的確に把握して、学力の充実・向上や進路保障に努める。また、基本的人権を尊重する精神を養い、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人などに対する差別や人権侵害など、様々な人権問題を自分自身の問題として捉え、主体的に解決を図る意欲と実践力を持った児童生徒を育成する。</p> <p>・生徒指導          今日の学校における問題事象や不登校の状況から、校内指導体制をさらに強化するとともに、教育活動全体を通じてガイダンスの機能の充実を図り、幼児児童生徒の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成に努め、よりよい人格の形成を促す。</p>
実施、取組状況	<p>【学校教育課】</p> <p>○心の安定基地づくり推進事業          不登校総合対策事業として、不登校児童生徒が通う、適応指導教室「けやき広場」の運営、並びに早期対応のための訪問指導員（4人）や訪問専門指導員（1人）の配置を行うと共に、教育にかかる保護者等からの相談に教育相談室の臨床心理士等が対応して、適切な支援を行った。</p> <p>【実績】不登校出現率 小学校 0.29% (23年度0.28%)          中学校 2.54% (23年度2.07%)          H23 6,069,904 円 H24 6,418,454 円</p> <p>○いじめ根絶対策事業          いじめを根絶するため、ふくちやまCAPによる人権ワークショップを小学校の児童や保護者等を対象に行い、いじめや虐待から自分の大切な命と体を守るために、自分でどのように行動すればよいかを学んだ。</p> <p>【実績】H23 420,000 円 H24 400,000 円</p> <p>○小学校移動教室事業          集団での宿泊生活や活動をとおして、基本的な生活習慣や道徳心を育成する。</p>

実施、取組状況	<p align="center"><u>【実績】 H23 2,388,870円 (6校) H24 2,025,395円 (5校)</u></p> <p>○スクールカウンセラー活用事業 京都府事業により、小中学校に配置しているスクールカウンセラーの活動にかかって必要な電話の通話料金を支出した。</p> <p align="center"><u>【実績】 H23 474,000円 H24 363,979円</u></p>
	<p>○入学一時金支給事業 経済的理由により就学が困難な高校生や大学生等に学資を支給し、社会発展に寄与できる人材の育成を日指すことを目的に入学一時金を支給した。</p> <p align="center"><u>【実績】 H23 34人・1,886,075円 H24 54人・2,100,000円</u></p>
	<p>○人材育成支援事業 あらゆる人権問題の早期解決を担う人材を育成するため、公的奨学金の受給者に対し、学資の一部を支給すると共に人権学習会に参加してもらい自己研鑽を図る。</p> <p align="center"><u>【実績】 H23 3,005,945円 (118人) H24 3,042,200円 (122人)</u></p>
	<p>○人権教育研修事業 京都府他、各種人権研修に教職員を派遣し、スキルアップを図った。</p> <p align="center"><u>【実績】 H23 398,860円 H24 433,960円</u></p>
	<p>○学校音楽祭事業 市立小中学校の児童生徒が一堂に会し、合唱や器楽演奏の学習成果を発表したり、鑑賞したりすることにより、豊かな情操を培うことを目的に学校音楽祭を開催した。</p> <p>第43回学校音楽祭 日時：平成24年11月7日(水) 小学校の部 平成24年11月8日(木) 中学校の部 場所：福知山市厚生会館</p> <p align="center"><u>【実績】 H23 1,991,966円 H24 1,602,716円</u></p>
	<p>○学校美術展事業 福知山市立幼・小・中学校(園)の園児、児童生徒が図画工作・美術、毛筆書写の日頃の成果を発表し合い、技術の向上を目指すことを目的として学校美術展を開催した。</p> <p>第48回学校(園)美術展 日時：平成24年10月20日(土)～10月22日(月) 場所：福知山市厚生会館</p> <p align="center"><u>【実績】 H23 581,368円 H24 629,468円</u></p>

施策方針	<b>健やかな身体をはぐくむ教育の推進</b>
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育・スポーツ、芸術文化活動 体育・スポーツ活動や芸術文化活動への興味・関心を育て、積極的に活動に参加させ、自己の個性や能力を最大限に発揮する態度を育て、生涯にわたって豊かに生きる力を育成する。</li> <li>・健康安全教育 生涯を通じて心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践する幼児児童生徒の育成に努める。そのため、健康安全に関する活動を充実し、家庭・地域社会・関係機関との連携を図り、健康安全教育を組織的・計画的・継続的に進める。</li> </ul>

実施、取組状況	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>○<b>体育振興事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が大会に安全に参加できるようにスクールバス運行を行った。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H23 1,948,380円 H24 1,886,357円</u></p> <p>○<b>子ども安全対策事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・小学校・中学校に学校安全支援補助金を交付した。</li> <li>・子ども安全対策連絡協議会では、総会や子ども地域安全セミナーを開催し、子どもの安全を守るための活動をした。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H23 1,354,816円 H24 1,274,050円</u></p> <p>○<b>学校保健事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健研究大会等を開催した。221名の参加があった。</li> <li>・小・中体育連盟負担金、学校保健会補助金の支給を行った。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H23 1,555,631円 H24 1,397,450円</u></p> <p>○<b>中学校自転車通学助成事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通学費は6中学校で21人に支給した。</li> <li>・自転車ヘルメット補助(一般)は5中学校で96人に支給した。</li> <li>・自転車ヘルメット補助(要・準)は5中学校で27人に支給した。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H23 322,600円 H24 341,700円</u></p> <p>○<b>中学校各種大会派遣事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3競技(野球・卓球・テニス)において近畿大会への出場があった。</li> <li>・1競技(野球)において全国大会への出場があった。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H23 2,064,804円 H24 3,580,207円</u></p> <p>○<b>健康管理事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断等を実施した。</li> <li>・就学時健康診断を実施した。</li> </ul> <p>○<b>小学校遠距離通学費補助金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3小学校で15人に支給した。(精華小・明正小・細見小)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H23 786,960円 H24 615,600円</u></p> <p>○<b>実践的防災教育総合支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員学校防災指導者研修会の実施。38名参加</li> <li>・防災センターでの体験学習。15回実施。述べ521名参加</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H24 243,004円</u></p> <p><b>【学校給食センター】</b></p> <p>○<b>学校給食管理運営事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの学校給食センター体制で、市内の29小中学校に、学校給食を統一献立で提供した。</li> <li>・市内の小中学校を対象に、栄養教諭等が「食に関する指導」を実施した。</li> </ul>
---------	---

施策方針	社会の変化に対応する教育の推進
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育</li> </ul> <p>身近な環境や環境問題に関心を持ち、人間と環境とのかかわりについて理解を深め、自ら考え環境に働きかける実践的態度や能力の育成に努める。</p>

<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育 社会の高度情報化に伴い、児童生徒の発達段階に応じ、「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」の観点から情報活用能力の育成に努める。特に情報の価値についての認識を高めるとともに、情報モラルに関する指導の充実に努める。</li> <li>・国際理解教育 グローバル社会に主体的に生きる国際感覚をそなえた日本人として、人権尊重の精神を基盤にして、我が国及び諸外国の文化と伝統などを尊重するとともに、異文化を理解し尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や態度を育成する。</li> </ul>
<p>実施、取組状況</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○環境教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画をたて、横断的に全教育課程の中で取り組んでいる。資源回収、節電の取組を通して限られた資源の有効活用から学びを深めた。</li> </ul> </li> <li>○情報教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画をたて、各教科での調べ学習やプレゼンテーションにも有効な手段として、知識や活用能力等、ICT 活用力の向上を図った。</li> </ul> </li> <li>○国際理解教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6人のAETを小中学校に配置し、授業を中心としたコミュニケーションにより、国際理解を深めた。</li> </ul> </li> </ul>

<p>施策方針</p>	<p><b>魅力ある学校づくりと教職員の資質能力の向上</b></p>
<p>項目</p>	<p>教職員は、公教育に課せられた使命と責任を自覚し、市民の信託と期待に応えるため、自ら心身の健康管理に留意し、豊かな人間性、広い社会性、高い専門性を身に付ける研修を積極的に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営</li> <li>・教職員の使命と責任</li> <li>・教職員研修</li> </ul>
<p>実施、取組状況</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての学校において学校評価を公表した。</li> </ul> </li> <li>○学校運営協議会設置校の指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・美河小学校を学校運営協議会設置校として指定。保護者や地域住民の協力により学校運営の改善を図るもの。</li> </ul> </li> <li>○教育実践論文「けやき賞」の募集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の資質向上を図るため、けやき賞を募集すると共に、学校教育フェスティバルにおいて、日新・大江ブロックの取組をはじめ「けやき賞」の発表を行い、本市学校教育について保護者への啓発を行った。</li> </ul> <p><b>【実績】</b> 応募数 H23 5点 H24 5点</p> </li> <li>○市学校教育振興会活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市学校教育振興会の教職員の資質向上にかかる取組等を支援した。</li> </ul> </li> </ul>

施策方針	生涯学習社会の実現
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の推進 市民が心豊かで充実した生きがいのある生活を送るために、生涯学習社会に対応して、楽しく、いつでも、誰でも、どこでも、学べるように多様な方法で学習活動を推進し、その学習活動で得た知識や人間関係を活用し、若者や市民を巻き込んだ社会教育活動を推進することで現代的課題や地域課題の解決に向けた人づくりやコミュニティづくりを推進する。</li> <li>・公民館活動の推進 市立公民館は地域の生涯学習を推進する社会教育施設として、地域の活性化に重要な役割を果たすことから、基本的人権の尊重を基盤として、誰もが生涯にわたりあらゆる機会に、市民文化・教養・人権学習に関する各種事業を行うとともに、学校、家庭及び地域社会との連携等を行い、次代を担う子どもたちの育成をはじめとした現代的課題や地域課題を共有し、これらの課題解決に向けた実践につながる活動の展開に努める。</li> <li>・図書館活動の推進 国際化、高度情報化など社会情勢の変化に伴い、利用者のニーズも多様化している中で、豊富な知識と情報を提供し、市民の暮らしや学習、創作活動を援助するため、身近な生涯学習施設として、図書館サービスの充実に努める。</li> </ul>
実施、取組状況	<p><b>【生涯学習課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習まちづくり出前講座 市民の団体等が主催する学習会に市職員等が講師となり出向き、市民の生涯学習活動の推進を図った。(27講座 参加者数 754人)</li> <li>○生涯学習推進啓発事業 生涯学習全般にわたる23年度の取組みをまとめた冊子を作成し、更なる活動の充実と事業の啓発に資するよう配布した。 (220部作成し関係機関に配布した。)</li> <li>○夜久野町生涯学習センター事業 市民の生涯学習の推進と研修及び成果発表の場としてセンターの管理運営を行った。(利用者目標 16,000人→利用実績 17,417人)</li> </ul> <p><b>【中央公民館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中央・地域公民館講座等開設事業 講座の開催や人権研修、地域交流などの活動を行い、地域の生涯学習を推進する社会教育の拠点施設として講座や公民館まつり等を開催し、地域住民等への生涯学習の推進を図った。 事業費総額 H23 2,211,986円 →H24 2,388,372円</li> <li>○地区公民館育成事業 地区公民館に対し、事業負担金及び館長・主事手当を支出し、支援を行った。 補助金総額 H23 10,468,560円 →H24 11,267,150円</li> <li>○公民館連絡会・連絡協議会 連絡会と主事会を毎月1回開催の上、各会においては研究テーマを設定しながら意見交換や調査研究に努め、各公民館間相互の連携を図った。 公民館連絡会、主事会：各月1回計年12回、連絡協議会：年2回</li> <li>○高齢者ボランティア活動推進事業</li> </ul>



実施、取組状況	<p>市民の深い知識と経験を活用するための「市立公民館人材銀行」への登録と積極的な取り組みの推進を図ることにより、自らの企画・運営する自主講座の開設等の拡大につなげた。</p>
	<p>事業費総額 H23 78,668 円 →H24 135,906 円      ※ H24 年度の内容【◎公民館人材銀行登録者：38 人 ◎人材銀行自主講座「松柏盆栽の作り方」：1 回、「さつき盆栽の手入れ」：3 回、「季節（盆）料理講習会」：1 回、「季節（正月）料理講習会」：1 回】</p>
	<p>○市民会館・市立公民館管理運営事業      公民館は地域に開かれた「つどう・まなぶ・むすぶ」の機能を有する社会教育施設として、地域住民が容易に利用できるように門戸を開き、各種団体や機関及び関係施設との連携・協力を図りながら、交流（であい・ふれあい）活動を積極的に展開すべき役割をもつことから、各公民館施設等が連携を深めながら円滑な管理運営に努めた。</p>
	<p>事業費総額 H23 65,890,979 円 →H24 63,213,064 円      ○公民館施設の整備・改修      各公民館施設も経年劣化が進み老朽化が著しく、活動運営に支障をきたしている状態にある。この様な状況下において、限られた予算の範囲の中で優先順位をつけて可能な限り修繕、改修に努めた。</p>
	<p>事業費総額 H23 26,294,205 円 →H24 6,318,060 円      ○公民館活動研修事業      他の公民館活動を参考とし、専門性とコーディネート能力の育成に努めた。      事業費総額 H23 127,376 円 →H24 232,075 円</p>
	<p><b>【図書館】</b>      ○資料収集整理事業      ・図書館資料（図書、新聞、雑誌等）を購入し、利用者への提供を行った。      ・図書 4,187 冊、雑誌 55 種、新聞 23 紙      ○中央館、各分館運営事業      ・臨時職員の雇用や図書館システムの借用、移動図書館の運営委託等を行い図書館の安定的な運営を行った。      ○読書活動支援事業      ・読書活動の普及、図書館活動への理解と利用促進につなげる講座、講演会を開催した。      ○利用者インターネット検索端末導入事業      ・利用者が自由に調べものができるようパソコン端末を 2 台設置。      ○（仮称）市民交流プラザふくちやま図書館資料購入事業      ・魅力ある新図書館中央館の開館に向けて図書館資料の購入を行った。2 ヶ年計画の 1 年目。      ・購入冊数 23,549 冊      ○図書館機能充実事業      ・ブックポスト、ブックトラックを購入し、図書館の環境整備を行った。      ○佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金積み立て事業      ・子どもの読書活動の振興に関する寄附金を受け入れ、基金として積み立てた。      ・積立金（寄附金）：2 億 5 千万円</p>

施策方針	共に幸せを生きる社会の実現
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の推進 「福知山市人権施策推進計画」並びに「福知山市人権教育実施方針」及び「福知山市男女共同参画推進条例」、「福知山市新障害者計画」に基づき、人間の尊厳が守られ、様々な人権問題の解決に向けて、市民が主体となって「共に幸せを生きる」共生社会の実現を図る人権教育を推進する。</li> <li>・成人教育の推進 現代社会の中で、成人の果たすべき役割は極めて重要であることから、市民の社会的責任の自覚を促すとともにモラルの向上を図り、連帯と協調の成果があがるよう成人の学習活動の推進に努める。また、福知山市男女共同参画推進条例の基本理念に基づき、男女が互いにその人権を尊重し、共に自分らしく生きられる男女共同参画社会の実現を目指す。</li> <li>・高齢者教育の推進 高齢者が家庭や地域で尊重され、いきいきと充実した生活を実感できる社会の実現に努めるとともに、高齢者の学ぶ意欲、活動する意欲に応えるため学習活動の機会や社会参加の促進を図る。</li> <li>・障害者教育の推進 「福知山市新障害者計画」を踏まえ、障害のある人が社会の一員として充実した社会生活を営めるよう、学習機会の充実を図るとともに市民が障害と障害のある人に対する正しい理解と認識を深め、障害のある人と共に生きる社会を目指す学習活動の推進に努める。</li> </ul>
実施、取組状況	<p><b>【生涯学習課】</b></p> <p>○共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業 「共に幸せを生きる」共生社会の実現に向け、人権の大切さについて講演会や研修会（地域公民館、各小中学校において）を開催し、市民一人一人が今一度、様々な人権問題を正しく理解するとともに、一人一人がかかけがえのない存在であることを認識し、人権を尊重した誰もが生きやすいまちづくりの人権教育の推進を図った。 (参加者目標 4,200 人 → 参加実績 5,045 人 23 年度実績 4,067 人)</p> <p>○差別を許さない人材育成事業 「差別を許さない人材育成基本計画」及び「福知山市人権教育実施方針」に基づき、あらゆる差別を許さず見逃さない、心豊かな人権感覚を持った子どもの育成を目指し、STAR（差別を許さない）子ども育成協議会が子ども会員を組織化し、子どもの育成に取り組んだ。 (子ども会員登録目標数 15 人 → 登録実績 57 人 23 年度実績 56 人)</p> <p>○沖縄人権文化体験研修事業 「第2次福知山市人権施策推進計画」及び「差別を許さない人材育成計画」に基づき、日本で唯一地上戦が行われた沖縄に行き、戦争の実相に触れ、戦争の悲惨さと平和の尊さ、沖縄の歴史と文化について学ぶと共に、ハンセン病の療養所にも訪問し、日本の中での沖縄の問題を通して平和と人権の視点から考え、学んだことを人権啓発のリーダーとして、学校、家庭、地域で活かすことのできる高校生の人材育成を図った。 (参加実績 4 人 23 年度実績 5 人)</p> <p>○公民館・企業人権教育講座事業 地域公民館や企業等が主体となり、地域や各企業の実態に即した人権学習を実施</p>

<p>実施、取組状況</p>	<p>し、人権という普遍的文化の創造と市民が主体となって「共に幸せを生きる」共生社会の実現を推進する支援を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発ビデオ解説パンフレット作成</li> <li>・人権啓発ビデオ教材購入</li> </ul> <p>○人権教育・人権啓発補助事業</p> <p>社会教育関係団体及び市民団体グループ等が、あらゆる人権問題の解決に向けて取り組む、人権教育活動・啓発活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体、市民グループ等 12団体</li> <li>・子ども育成団体 2団体</li> <li>・企業人権教育推進協議会</li> </ul> <p>●福知山市人権教育推進委員会・・・地区公民館を中心に43団体</p> <p>●福知山市企業人権教育推進協議会・・・加盟企業 100社</p> <p>新入社員・トップ・人権担当者を対象とした研修会、女性問題をテーマとした研修会を実施するとともに、人権ビデオ巡回研修を実施し、人権問題を正しく理解し、人権が尊重される職場環境づくりへの啓発と人材の育成を図った。</p> <p>○教育集会所管理事業</p> <p>基本的人権尊重の精神に基づき、あらゆる人権問題の解決に向けて、人権教育・啓発活動、文化活動、住民交流活動を推進するため設置した15教育集会所を管理。人権学習の推進を行い、差別を許さない人材育成の中心施設とした運営を行った。</p> <p>○教育集会所学習活動事業</p> <p>差別を許さない人材育成を教育集会所が核となり事業実施をするとともに、基本的人権尊重の精神に基づき、あらゆる人権問題の解決にむけて、人権教育・啓発活動、文化活動、住民交流活動等を実施した。</p> <p>(学習活動参加者目標4,300人 → 参加実績6,682人 23年度実績4,477人)</p> <p>○婦人教育事業</p> <p>福知山市連合婦人会を母体として、男女共同参画社会の実現と活力ある地域社会づくりを目指して、幅広い分野での学習・実践を進めた。</p> <p>(参加者目標1,500人 → 参加実績1,250人 23年度実績1,068人)</p> <p>○障害者青年学級事業</p> <p>学級生の社会参加と仲間との交流の機会を提供し、明日への意欲と希望を見出す機会となった。</p> <p>(講座開催回数目標12回 → 開催実績12回)</p> <p>○障害者成人講座事業</p> <p>聴覚と視覚の障害を対象に、それぞれ健康教室や講習会などを開催し、自ら進んで社会参画できる学習の場を提供した。</p> <p>(講座開催回数目標7回 → 開催実績8回)</p>
----------------	--

<p>施策方針</p>	<p>家庭・地域社会の教育力の向上</p>
<p>項目</p>	<p>・家庭教育の推進</p> <p>子どもにとって家庭は、すべての教育の出発点であり、家族が深い愛情で結ばれ、日常生活を通して基本的な生活習慣や豊かな心を身に付け、他人に対する思いやりをはぐくむ重要な場であり、同時に心の安らぎを与える最も大切な生活の領域であり、地域社会は人々が互いに思いやり、共に助け合いながらつながりを持つ場であ</p>

<p>項 目</p>	<p>る。家庭や地域の教育機能が子どもの発達段階に応じて、充分発揮されるような家庭・地域づくりのための学習活動を推進し、学校や地域諸団体と連携を図り、家庭・地域社会の教育力の向上に努め、地域の絆を結ぶ取組を推進する。</p> <p>・青少年教育の推進  地域総がかりで次代の福知山を担う「生きる力」を備えた子どもの育成を目指して、家庭・地域社会・学校が連携・協働し、青少年に様々な体験活動を提供するとともに、集団生活や社会参加を通じ豊かな心をはぐくみ、人権尊重の精神や社会の一員として、自立していくための基礎を養う学習活動の推進を図る。</p> <p>・地域社会の教育力向上を目指す活動  地域社会は、人々が互いに思いやり、共に助け合いながらつながりを持つ場であるとともに、地域総がかりで新しい時代を切り拓く力のあるたくましい青少年を育成することや、子どもの安心・安全な活動の場をつくることの重要性について地域住民に共通理解を求め、家庭・地域社会・学校が連携・協働し、地域社会の教育力の向上を図る。</p>
<p>実施、取組状況</p>	<p><b>【生涯学習課】</b></p> <p>○PTA連絡協議会共催事業  各小中学校の単位PTAとの連携を深め、情報交換や研修・学習等を通して、子どもたちと共に学び行動する保護者をめざし、意識の高揚を図るため、研修会や交流会を開催した。  (参加者目標 1,700 人 → 参加実績 1,261 人)</p> <p>○市立幼稚園PTA連絡協議会共催事業  父母も教師もお互いに学びあうことで、人間的な成長をめざし研修会を開催した。  (参加者目標 103 人 → 参加実績 117 人)</p> <p>○こだま教育運動事業  各地区公民館を中心に、青少年の学校外活動の推進と家庭と地域における教育力の向上を図る取組みを実施した。  ・親子ふれあい活動や美化作業などの体験事業を 30 公民館で延べ 1,090 時間実施した。  ・掲示教育(まちかど黒板)で市内 357 箇所の掲示文を月 2 回更新  ・「家族だんらん」の作文集を作成し全戸配布した。  (掲示黒板目標 357 箇所 → 掲示実績 357 箇所)</p> <p>○心の教育実践活動事業  各ブロック(10 ブロック)「心の教育」実践活動実行委員会ごとに、あいさつ運動や家族だんらんの日の啓発、地域と学校が連携した青少年の体験活動を実施し、「地域で子どもを育て、守る」という連帯感を高め、人を育む心豊かな地域の構築を図った。  (活動ブロック 目標 10 ブロック → 実績 10 ブロック)</p> <p>○青少年健全育成事業  青少年問題協議会での方針決定をうけて、青少年健全育成大会の開催や青少年健全育成協議会と子ども会への活動補助金の交付を行い、各地区青少年育成協議会の活動と子ども大会を開催した。  (各地区青少協の活動目標数 90 回 → 活動実績 109 回)  (子ども大会参加者目標数 5,500 人 → 参加実績 4,500 人)  (青少年団体活動目標数 39 団体 → 活動実績 39 団体)</p>

実施、取組状況	<p>○<b>勤労青少年ホーム運営事業</b>          勤労青少年の福祉の向上と、社会人としての教養並びに友達づくりを通じた心の健康増進を図るため、講座の開催やクラブ活動の支援を行った。          (講座・クラブ活動目標 1,900回 → 実績 1,731回)          (利川人数目標 15,000人 → 実績 11,798人)</p> <p>○<b>成人式事業</b>          人生の大きな節目を祝うとともに、社会人としての自覚を促すため、成人式を開催した。また、若者が主体となった式典をめざし、高校生ボランティアによる運営協力など新しい取組みを実施した。          (出席者の割合目標 100% → 実績 83.9% 平成 23 年度 82.0%)</p> <p>○<b>公誠子ども教室事業</b>          公誠小学校の休校に伴って、地域の子どもを地域で育てることで地域の活性化を図り、放課後等における安全で健やかな居場所と学びの場を提供するため開設した。          (参加児童累計目標 1,400人 → 1,742人)</p> <p>○<b>少年補導センター事業</b>          少年補導委員(94人)による巡回指導等環境浄化活動により、青少年の非行防止と健全な生活を確保し、誰もが安全安心に暮らせる地域づくりを図った。          (補導活動回数目標 330回 → 321回)</p>
---------	--

施策方針	文化・文化財保護の推進
項目	<p>・文化・文化財保護の推進          文化・文化財は、本市の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、先人の遺した貴重な文化遺産を保護・伝承し、保存・活用していくことは、市民のふるさと意識の醸成や個性的で魅力ある人づくり、まちづくり、あるいは心や生活にうるおいをもたらす重要な役割を果たすものである。この大切な文化遺産を後世に伝えるために積極的な保護・保全を図り、地域振興の有効な資源とするとともに、市民共有の財産として継承していくため、文化的所有者などの関係者だけでなく、保存・保護に携わる多様な担い手の育成、ふるさとを愛する心をはぐくむ学習資料として有効な活用を図る。</p>
実施、取組状況	<p><b>【生涯学習課】</b></p> <p>○<b>有形・無形文化財の保存・修理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護事業              審議会(井上正暉)において、文化財指定候補の選定をおこなった。</li> <li>・文化財保全事業              歴史的建造物や美術工芸品等、文化財の修理保全の相談や指導・助言を行なった。              1回指定、府指定、市指定、未指定文化財17件に対して補助を行なった。              H23 : 1,300千円 → H24 : 2,500千円</li> <li>・旧松村家住宅保存修理事業              京都府指定文化財(建造物)の松村家住宅(現足立音衛門本店)について、3か年計画で進める修理事業に対して補助を行った。              H23 : 1,000千円、H24 : 1,000千円、H25 : 1,000千円</li> </ul> <p>○<b>埋蔵文化財の保存、保護</b></p>

実施、取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政指導と発掘調査等 埋蔵文化財包蔵地での開発に対し、文化財保護法による事前協議、相談、指導を行なった。</li> <li>・キツネ山古墳群発掘調査 民間の土砂採取事業に伴って緊急的に大江町高津江のキツネ山古墳群の発掘調査を行ない、記録と成果を保存した。 調査経費 960 千円(受託事業)</li> <li>・市内遺跡発掘調査 市内遺跡の詳細内容確認調査として国庫補助を受け、3か年計画で夜久野ヶ原地区発掘調査を実施した。 予算額 H23：3,000千円、H24：2,500千円、H25：3,000千円</li> <li>○天然記念物の調査、保護 自然遺産を本市の文化財として捉え、保全・保護手法の検討と資料収集、指定を目指すことを目的とする。3か年計画の2年目として本格的な現地調査を行った。 情報提供シートを各戸配布して、市民啓発を進めるとともに情報を収集した。 情報総数 518 件(有効数 444 件、不明・無記入 74 件)</li> <li>○民俗資料の調査 福知山市内の民俗資料(農具、工具等)について、保管・活用・普及啓発の基礎資料とするため、保管・管理状況、種類、点数等を確認する実態調査を実施している。本年度は主に小・中学校へ依頼した収蔵の有無を確認したアンケート調査の成果を基に、現状の把握する調査を実施した。</li> <li>○周知普及事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財啓発事業 子ども歴史博物館、出前講座、公民館講座や発掘調査現地説明会、展示などを実施した。指定文化財説明看板を3か所、設置・更新した。 文化財WEBページ(<a href="http://www.city.fukuchiyama.kyoto.jp/fukuchiyamaisanWEB">http://www.city.fukuchiyama.kyoto.jp/fukuchiyamaisanWEB</a>)を常に更新し、文化財情報の公開に努めた。 日本の鬼の交流博物館の特別展として、春の特別展、夏の特別展、秋の特別展を開催、また夏季体験事業としてワークショップを行い、子どもから大人までが楽しめる、鬼と鬼の交流博物館の新たな魅力を市民に知らせる機会を得た。 夜久野町化石・郷土資料館では、夜久野地域の貴重な地質資料と化石について学習と体験を兼ねた体験教室を8月に開催した。 予算額 1,740千円</li> <li>・世界鬼学会運営補助事業 民俗学的伝承として貴重な大江山の伝説、文化・観光資源である鬼文化。この鬼文化を研究・啓発する世界鬼学会に対して助成を行い、シンポジウム、研究冊子を刊行した。</li> </ul> </li> <li>○資料館の運営及び展示 三和町郷土資料館、夜久野町化石・郷土資料館、日本の鬼の交流博物館など文化財施設の運営。 入館者数 鬼の交流博物館 約9,000人、化石郷土資料館 約1,600人、三和町郷土資料館 約100人 ・鬼の交流博物館ホームページを随時更新した。</li> <li>○名勝大江山調査事業 「文学と伝説の山 大江山」を主題として、国指定名勝地候補としての基礎資</li> </ul>
---------	--

	料を得るため、本年度は主に指定候補範囲の土地権利関係を調査した。 H24予算額：2,000千円、実績額：1,412千円、H25予算：3,000千円
--	--

施策方針	教育環境の整備・充実				
実施、取組状況	<p><b>【教育総務課】</b></p> <p>○幼稚園施設設備改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大正幼稚園屋上防水改修工事 事業費：8,870千円 完成：平成24年12月</li> </ul> <p>○幼稚園耐震改修事業 (平成25年度へ繰越)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成仁幼稚園園舎耐震診断業務 事業費：1,292千円</li> <li>・昭和幼稚園園舎耐震診断業務 事業費：1,239千円</li> <li>・大正幼稚園園舎耐震診断業務 事業費：1,097千円</li> <li>・雀部幼稚園園舎耐震診断業務 事業費：3,623千円</li> </ul> <p>○小学校施設設備改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雀部小学校管理棟屋上防水改修工事 事業費：12,582千円 完成：平成25年2月</li> <li>・成仁小学校グラウンド防球フェンス新設他工事 事業費：10,322千円 完成：平成25年2月</li> <li>・上川口小学校下排水改修工事 事業費：5,775千円 完成：平成24年10月</li> <li>・遷喬小学校プール施設改修工事 事業費：6,867千円 完成：平成25年1月</li> <li>・惇明小学校グラウンド防球フェンス設置他工事 事業費：5,208千円 完成：平成25年2月</li> </ul> <p>その他の施設整備事業費総計 24,556千円</p> <p>○中学校施設設備改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日新中学校教室棟手洗器新設工事 事業費：7,550千円 完成：平成24年9月</li> <li>・日新中学校屋内運動場屋根防水改修工事 事業費：5,817千円 完成：平成25年1月</li> <li>・南陵中学校配膳室進入路整備工事 事業費：4,887千円 完成：平成25年1月</li> </ul> <p>その他の施設整備事業費総計 43,794千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>平成24年度末の耐震化率 77.5%</td> </tr> <tr> <td>・幼稚園 42.9%</td> </tr> <tr> <td>・小学校 80.0% (校舎 76.3% 体育館 88.5%)</td> </tr> <tr> <td>・中学校 78.4% (校舎 78.6% 体育館 77.8%)</td> </tr> </table> <p>○小学校耐震改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和小学校管理棟耐震診断業務 事業費：1,255千円 完成：平成25年3月</li> <li>・昭和小学校言葉教室棟耐震改修工事に伴う実施設計業務</li> </ul>	平成24年度末の耐震化率 77.5%	・幼稚園 42.9%	・小学校 80.0% (校舎 76.3% 体育館 88.5%)	・中学校 78.4% (校舎 78.6% 体育館 77.8%)
平成24年度末の耐震化率 77.5%					
・幼稚園 42.9%					
・小学校 80.0% (校舎 76.3% 体育館 88.5%)					
・中学校 78.4% (校舎 78.6% 体育館 77.8%)					

実施、取組状況	事業費：809千円	完成：平成25年2月
	・ 惇明小学校普通教室棟耐震改修工事に伴う実施設計業務	
	事業費：788千円	完成：平成25年2月
	・ 雀部小学校管理棟・屋内運動場（東）耐震改修工事に伴う実施設計業務	
	事業費：1,239千円	完成：平成25年2月
	・ 美鈴小学校屋内運動場耐震改修工事に伴う実施設計業務	
	事業費：987千円	完成：平成25年2月
	・ 下六人部小学校教室棟耐震改修工事に伴う実施設計業務	
	事業費：1,643千円	完成：平成25年2月
	・ 有仁小学校校舎棟耐震改修工事に伴う実施設計業務	
	事業費：935千円	完成：平成25年3月
	・ 有仁小学校屋内運動場耐震改修工事に伴う実施設計業務	
	事業費：1,292千円	完成：平成25年3月
	(平成23年度からの繰越事業)	
	・ 上豊富小学校屋内運動場耐震診断業務	
	事業費：1,596千円	完成：平成24年5月
	・ 有仁小学校屋内運動場耐震診断業務	
	事業費：1,334千円	完成：平成24年8月
	・ 下六人部小学校教室棟他耐震診断業務	
	事業費：2,720千円	完成：平成24年11月
	・ 昭和小学校特別教室棟（言葉の教室）耐震診断業務	
	事業費：2,573千円	完成：平成24年8月
	・ 有仁小学校校舎棟耐震診断業務	
	事業費：3,308千円	完成：平成24年10月
	・ 美鈴小学校校舎棟他耐震診断業務	
	事業費：2,100千円	完成：平成24年6月
	・ 美河小学校屋内運動場耐震改修工事	
	事業費：31,217千円	完成：平成24年8月
	・ 上六人部小学校管理棟耐震改修工事	
	事業費：20,738千円	完成：平成24年9月
	・ 細見小学校管理棟耐震改修工事	
	事業費：24,136千円	完成：平成24年9月
・ 惇明小学校屋内運動場耐震改修工事		
事業費：8,633千円	完成：平成24年9月	
・ 昭和小学校普通・特別教室棟耐震改修工事		
事業費：82,761千円	完成：平成24年9月	
・ 美河小学校校舎棟耐震改修工事		
事業費：76,703千円	完成：平成24年10月	
・ 昭和小学校特別教室棟柱鋼板巻き工事		
事業費：2,619千円	完成：平成25年3月	
○中学校耐震改修事業		
・ 桃映中学校教室棟耐力度調査		
事業費：1,932千円	完成：平成24年12月	
・ 桃映中学校管理棟耐震工事に伴う実施設計業務		



実施、取組状況	事業費：903千円                      完成：平成25年2月 ・南陵中学校管理棟耐震工事に伴う実施設計業務 事業費：651千円                      完成：平成24年12月 (平成23年度からの繰越事業) ・南陵中学校特別教室棟耐震工事に伴う実施設計業務 事業費：714千円                      完成：平成24年12月 (平成25年度へ繰越) ・桃映中学校屋内運動場耐震診断業務                      事業費：2,006千円 ・日新中学校屋内運動場・技術棟耐震診断業務                      事業費：2,972千円
	○(仮称)夜久野学園整備事業
	・夜久野学園整備工事 事業費：124,005千円                      完成：平成25年2月 ・夜久野学園整備工事に伴う電気設備工事 事業費：14,091千円                      完成：平成25年2月 ・夜久野学園整備工事に伴う外構整備他工事 事業費：10,274千円                      完成：平成25年3月
	○スクールバス管理運行
	・遠距離通学児童・生徒の安心安全な通学手段を確保した。 金山スクールバス 1台 公誠・北陵スクールバス 1台 大江スクールバス 5台 夜久野中スクールバス 4台
	○学校施設の安全対策・バリアフリー化事業
	・日新中学校教室棟便所改修工事 事業費：9,740千円                      完成：平成24年9月
	○桃映中学校北校舎改築事業
	・桃映中学校北校舎改築工事に係る地質調査業務 事業費：1,734千円                      完成：平成24年12月 ・桃映中学校北校舎改築工事に係る実施設計業務 事業費：13,640千円                      完成：平成25年3月
	○北陵中学校解体事業
	・旧北陵中学校木造校舎解体他工事 事業費：19,614千円                      完成：平成25年3月
	○(仮称)夜久野学園スクールバス購入事業・・・ 17,492,055円
	・夜久野学園開園に伴い、児童生徒の安心安全な通学を支援するためスクールバスを2台(45人乗り1台、29人乗り1台)購入した。
	○(仮称)夜久野学園準備事業・・・ 5,089,394円
	・夜久野学園の開校に伴い、統合の準備・閉校式の準備等を行った。
	○学校情報機器保守管理事業・・・ 2,675,400円
	・授業用パソコン、校務ネットワーク用パソコン、ネットワーク用サーバ、財務会計端末用パソコン等の整備による保守
	○学校校務ネットワーク端末整備事業・・・ 819,000円
	・小学校校務ネットワーク用端末を整備(各学校に校務ネットワーク用端末を5年貸借)した。

実施、取組状況

- 私立高等学校補助金・・・ 1,250,000 円
  - ・私立学校の教育条件の維持・向上のため補助金を支出し支援した。
- 小学校財務会計端末用パソコン整備事業・・・ 469,295 円
  - ・学校財務会計用端末の賃貸借（各学校に財務会計用端末を5年賃借）かかる経費。
- 小学校管理一般管理事業・・・ 139,988,515 円
  - ・小学校管理に要する経費。
- 小学校教材備品購入事業・・・ 13,468,309 円
  - ・教育内容を十分に理解するための補助用具として、教材備品を整備した。
- 小学校教師用教科書・指導書購入事業・・・ 1,111,460 円
  - ・小学校教師用教材の充実
- 小学校複式学級対応事務職員配置事業・・・ 3,898,913 円
  - ・府の設置基準に満たない事務職員の配置を市費で行った。
- 小学校学校図書整備事業・・・ 989,042 円
  - ・学校図書の充実を図った。
- 夜久野学園備品購入事業・・・ 4,202,205 円
  - ・夜久野学園の開校に向けて、必要な備品を整備した。
- 小学校教育振興費一般管理事業・・・ 88,583 円
  - ・小学校教育振興に資する経費
- 中学校校務ネットワーク用端末整備事業・・・ 302,400 円
  - ・中学校校務ネットワーク用端末を整備（各学校に校務ネットワーク用端末を5年賃借）した。
- 中学校財務会計端末用パソコン整備事業・・・ 174,250 円
  - ・学校財務会計用端末の賃貸借（各学校に財務会計用端末を5年賃借）にかかる経費。
- 中学校管理一般管理事業・・・ 67,463,029 円
  - ・中学校管理に要する経費。
- 中学校教材備品購入事業・・・ 6,462,086 円
  - ・教育内容を十分に理解するための補助用具として、教材備品を整備した。
- 中学校教師用教科書・指導書購入事業・・・ 14,704,719 円
  - ・教師用教科書・指導書を購入。
- 中学校教育用コンピュータ等更新事業（繰越分）・・・ 16,065,000 円
  - ・中学校 IT 教育環境の充実を図った。
- 中学校学校図書整備事業・・・ 1,993,506 円
  - ・学校図書の充実を図った。
- 中学校配膳室整備事業・・・ 33,586,497 円
  - ・旧市内の6中学校で平成25年度からの完全給食の実施に伴い、必要な物品を購入した。
- 中学校教育振興費一般管理事業・・・ 34,800 円
  - ・中学校教育振興に関する経費。
  
- 【学校教育課】
- 学齢簿システム整備事業
  - 学齢簿システムに機能等を追加し、学校給食業務、就学援助業務を効率的に行うシステムを構築した。

実施、取組状況	<p align="center"><u>【実績】 H23 3,370,500円 H24 7,444,500円</u></p> <p><b>【生涯学習課】</b></p> <p>○勤労青少年ホーム耐震診断事業調査業務 事業費： 1,228,500円</p> <p><b>【学校給食センター】</b></p> <p>○新学校給食センター建設事業</p> <p>老朽化した福知山市学校給食センターと三和学校給食センターを統合し、学校給食衛生管理基準を満たしたドライシステム方式による新学校給食センターを建設した。建設によって、未実施であった6中学校においても受配開始となり平成25年度からの福知山市立小中学校の完全給食化の準備が整った。</p> <p>事業費 73,034,635円 1,799,071,500円（継続費）</p>

施策方針	<b>開かれた教育委員会の運営</b>
実施、取組状況	<p><b>【教育総務課】</b></p> <p>○教育委員会運営事業・・・5,431千円</p> <p>・教育委員会の運営に要する経費</p> <p>定例教育委員会・臨時教育委員会・協議会・研修会の実施</p>

## (4) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱

平成23年3月30日  
教育委員会告示第2号

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定により、福知山市教育委員会（以下「委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について行う点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し、必要な事項を定め、もって効果的教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の透明性の確保と説明責任を果たすことを目的とする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、委員会の権限に属するもので、前年度に実施した事務とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 前条に規定する事務について、所管する課等が点検及び評価表を作成する。

2 点検及び評価の方法並びに結果について、客観性及び透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者（以下「点検評価委員」という。）から意見を聴取する。

3 点検及び評価に関し必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

4 点検及び評価が終了したときは、速やかに当該結果を委員会に諮るものとする。

(点検評価委員)

第4条 点検評価委員は3人以内とし、委員会が委嘱するものとする。

2 任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、点検評価委員が欠けた場合は、前任者の残任期間において、新たな点検評価委員を委嘱するものとする。

(市議会への報告)

第5条 委員会は点検及び評価にかかる結果を市議会に報告し、かつ、公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第6条 委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、事業への取組、予算編成、事務事業の改善等に活用するものとする。

(庶務)

第7条 点検及び評価に関する庶務は、教育総務課において処理するものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年12月1日から施行する。

平成25年度（平成24年度対象）  
**福知山市教育委員会点検・評価報告書**

発行 平成26年2月

編集 福知山市教育委員会

〒620-8501

京都府福知山市字内記13番地の1

TEL 0773-22-6111（代表）

FAX 0773-24-4880